Panasonic®

取扱説明書　設定編

PCソフトウェアパッケージ

品番 **DG-ASM100 シリーズ**

本書は、DG-ASM100/L2、DG-ASM100/L3、DG-ASM100/L4の取扱説明書です。
本書では、品番の一部を省略している場合があります。

はじめに

商品概要

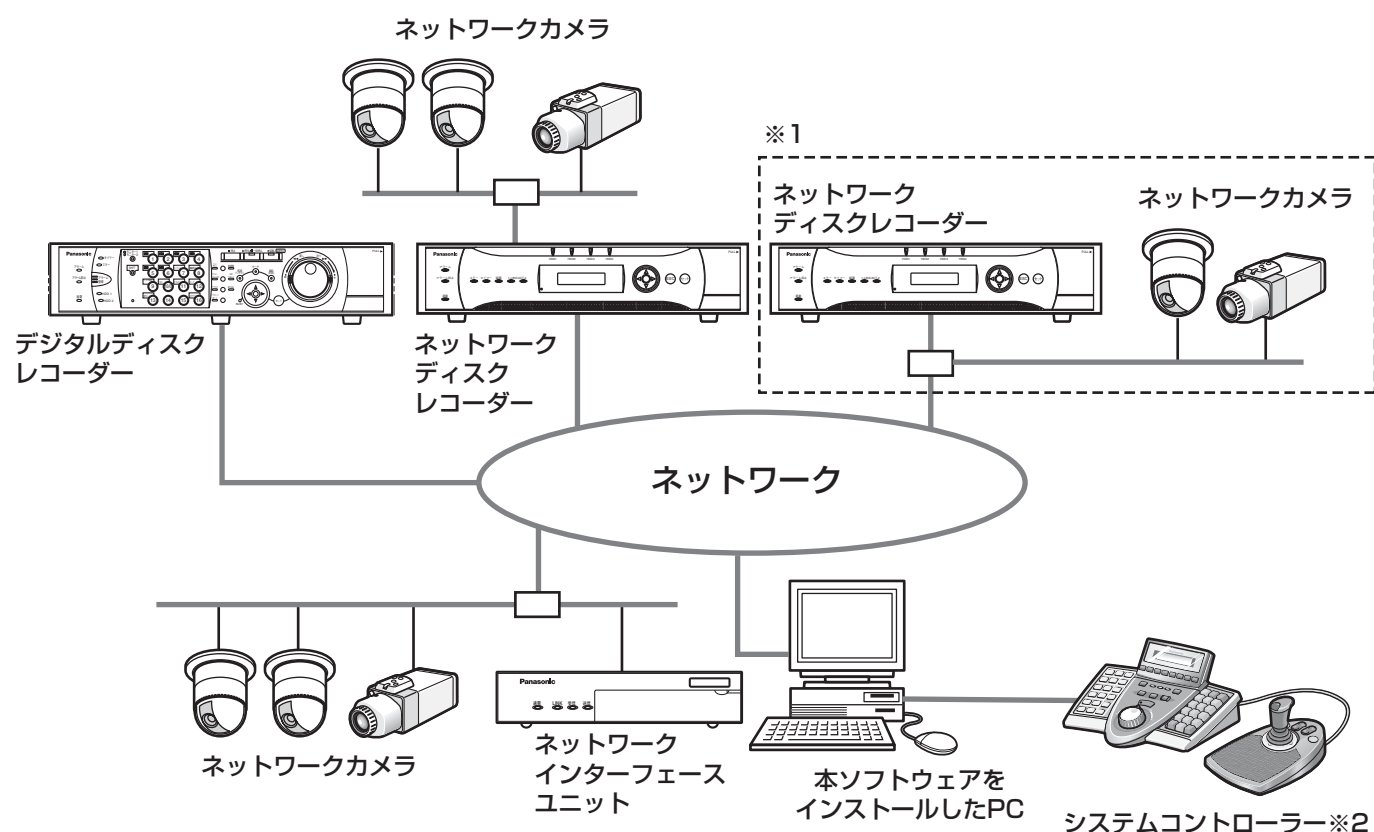
PCソフトウェアパッケージDG-ASM100シリーズ（以下、本ソフトウェア）はLAN（Local Area Network：以下、ネットワーク）に接続された、複数台（各機器の登録数については「商品仕様」（☞3ページ）をお読みください。）のパナソニック製ネットワークディスクレコーダー、デジタルディスクレコーダー（以下、レコーダー）および、ネットワークインターフェースユニット（以下、エンコーダー）、ネットワークカメラ（以下、カメラ）を統合管理し、Microsoft® Windows® 上で動作するソフトウェアです。対応機器については、「対応機器一覧」（☞4ページ）をお読みください。

本ソフトウェアを使用することにより、カメラの画像を遠隔のパーソナルコンピューター（以下、PC）のモニターに表示したり、レコーダーに録画されている画像をPCから操作し、PCのモニターで再生したり、PCのハードディスクにダウンロードしたりすることができます。

ソフトウェアの構成

本ソフトウェアは、次の3種類のソフトウェアで構成されます。

設定ソフトウェア　：運用ソフトウェアを使用するための設定および設定データの管理を行います。
運用ソフトウェア　：ライブ画像の表示、レコーダーに録画されている画像のダウンロードや再生操作、検索、およびカメラ操作を行います。
サービスソフトウェア　：独自アラーム通知の受信、操作ログの自動削除を行います。
PC起動時に起動し、常駐プログラムとして動作します。

システム構成図

※1　点線で囲まれた構成にすると、レコーダーに接続されているカメラの画像を、レコーダーを経由せずに直接見ることができます。その場合、以下の項目を確認・設定してください。
- ●レコーダーにカメラを登録する。
- ●レコーダーは1ポートで運用する。

※2　システムコントローラーは別途購入する必要があります。

!!重要!!
- ●PCと各機器はクロスケーブルで接続しないでください。
- ●複数のシステムコントローラーを接続した場合の動作は保障いたしません。

商品仕様

●機器登録数　：各機器の登録数は、品番によって異なります。

品番	レコーダー登録数	エンコーダー登録数	カメラ登録数
DG-ASM100/L2	最大8台	最大32台	最大128台
DG-ASM100/L3	最大16台	最大64台	最大256台
DG-ASM100/L4	最大64台	最大64台	最大256台

- ●ユーザー登録数　：最大32名
- ●ユーザーレベル数　：5レベル
- ●グループ登録数　：最大400グループ
- ●シーケンス登録数　：最大10件（シーケンス1件につき最大64ステップ登録可能）
- ●マップ登録数　：最大100枚（マップ1枚につき最大64台のカメラ、最大20枚のマップが配置可能。登録可能なファイルサイズは10 MB未満。登録可能なファイルの種類はJPEG、BMP）
- ●アラームログ登録件数（表示件数）　：最大30 000件（最大1 000件）
- ●機器障害ログ登録件数（表示件数）　：最大1 000件（最大1 000件）
- ●ネットワーク障害ログ登録件数（表示件数）　：最大1 000件（最大1 000件）
- ●システムログ登録件数（表示件数）　：最大1 000件（最大1 000件）
- ●操作ログ登録件数（表示件数）　：最大100 000件（最大1 000件）
- ●検索件数　：最大1 000件（VMD検索は最大200件）

✐メモ✐
- ●1台のレコーダーに接続可能なPCの台数は、接続機器の種類やライブモニターを使用する／使用しないによって異なります。

機器	ライブモニターの使用	
	使用する	使用しない
ND300	4台	6台
ND200	2台	4台
HD300※3	2台※1	3台※2
ND400	8台	16台
HD600	4台	8台
NV200	1台	1台

※1　16画または9画表示を行う場合は接続可能なPCの台数は1台になります。
※2　16画表示を行う場合は接続可能なPCの台数は2台になります。
※3　以下の条件でレコーダーとの接続が切れ、黒画が表示される場合があります。
- ●イベント録画＋シーケンス運用の場合
- ●1台あたりのHD300に対する全体ライブレートが15 ips以上の場合（☞23ページ）

- ●ウェブブラウザーによるアクセスやFTP接続によりユーザー数が超過すると、レコーダーとの接続が切れ、黒画が表示される場合があります。

対応機器一覧

本ソフトウェアは以下の機器に対応しています。

!!重要!!
- 対応機器のバージョンによっては一部機能が動作しないものがあります。詳しくは、別冊の「機器別機能一覧」をお読みください。
- お使いのレコーダーにRT416が含まれている場合は、別冊の「DG-ASM100シリーズ取扱説明書　WJ-RT416をお使いのお客様へ」を必ずお読みください。

✐メモ✐
- レコーダーに接続できるカメラに関しては、お使いのレコーダーの取扱説明書をお読みください。

対応レコーダー

品名	本書での表記	バージョン	圧縮方式
WJ-ND300	ND300	4.10以上	MPEG-4 M-JPEG
DG-ND300A		5.00以上	H.264
DG-ND200	ND200	1.10以上	MPEG-4 M-JPEG
		3.00以上	H.264
WJ-HD350 WJ-HD309	HD300	3.32以上	独自方式
WJ-RT416	RT416	1.50以上	MPEG-4
DG-ND400	ND400	1.00以上	MPEG-4 M-JPEG
		2.01以上	H.264
WJ-HD616 WJ-HD716	HD600	1.01以上	H.264
DG-NV200	NV200	1.03以上	H.264 MPEG-4 M-JPEG

対応エンコーダー

品名	本書での表記	バージョン	圧縮方式
DG-NT304	NT304	1.00以上	MPEG-4 M-JPEG
DG-NT314	NT314	1.00以上	MPEG-4 M-JPEG
DG-GXE500	GXE500	1.00以上	H.264 MPEG-4 M-JPEG

対応カメラ

品名	本書での表記	バージョン	圧縮方式
WV-NP472	NP472	2.20以上	M-JPEG
WV-NS320	NS32＊	2.20以上	M-JPEG
WV-NW474	NW47＊	2.20以上	M-JPEG
RP-NP244 DG-NP244	NP24＊	1.20以上	MPEG-4 M-JPEG
RP-NP1000 DG-NP1000 RP-NP1004 DG-NP1004	NP100＊	1.21以上	MPEG-4 M-JPEG
DG-NS202	NS202	1.11以上	MPEG-4 M-JPEG
DG-NS202A	NS202A	2.00以上	MPEG-4 M-JPEG
DG-NF282	NF28＊	1.00以上	MPEG-4 M-JPEG
DG-NW484	NW48＊	1.00以上	MPEG-4 M-JPEG
DG-NS950	NS95＊	1.00以上	MPEG-4 M-JPEG
DG-NW960	NW96＊	1.00以上	MPEG-4 M-JPEG
DG-NP304	NP304	1.00以上	MPEG-4 M-JPEG
DG-NF302	NF302	1.00以上	MPEG-4 M-JPEG
DG-NP502	NP502	1.00以上	H.264 MPEG-4 M-JPEG

品名	本書での表記	バージョン	圧縮方式
DG-NW502	NW502	1.00以上	H.264 MPEG-4 M-JPEG
DG-SP304V	SP304	1.00以上	H.264 MPEG-4 M-JPEG
DG-SP305	SP305	1.00以上	H.264 MPEG-4 M-JPEG
DG-SF334	SF334	1.00以上	H.264 MPEG-4 M-JPEG
DG-SF335	SF335	1.00以上	H.264 MPEG-4 M-JPEG
DG-SP102	SP102	1.01以上	H.264 M-JPEG
DG-SC385	SC385	1.01以上	H.264 MPEG-4 M-JPEG
DG-SW395	SW395	1.01以上	H.264 MPEG-4 M-JPEG

設定ソフトウェアについて

設定ソフトウェアは、管理者および設定の確認が可能な登録ユーザーでログインできます。ただし、設定は管理者のみ行えます。
また、設定ソフトウェアと運用ソフトウェアは同時に起動することはできません。
設定ソフトウェアでは以下の設定を行います。

システム
本ソフトウェアの基本的な動作に関する設定を行います。
詳しくは、「システムに関する設定」（☞21ページ）をお読みください。

機器管理
ライブ画像を表示したり、レコーダーの録画画像を再生したりするために、レコーダー情報やエンコーダーの情報、カメラの情報に関する設定を行います。
詳しくは、「機器管理に関する設定」（☞24ページ）をお読みください。

ユーザー管理
本ソフトウェアでは、管理者と登録ユーザーの2種類のユーザーを管理できます。ユーザー管理では、それぞれのユーザー情報を設定します。
詳しくは、「ユーザー管理に関する設定」（☞43ページ）をお読みください。

カメラ
カメラのグループやシーケンスに関する設定を行います。
詳しくは、「カメラに関する設定」（☞52ページ）をお読みください。

モニター
ライブモニターやマップモニターに関する設定を行います。
詳しくは、「モニターに関する設定」（☞59ページ）をお読みください。

イベント動作
アラーム発生時のメッセージ表示やブザー音出力、自動ライブ切り換え、障害発生時のメッセージ表示やブザー音出力など、イベント発生時の動作に関する設定を行います。
詳しくは、「イベント動作に関する設定」（☞64ページ）をお読みください。

通信
通信および独自アラームに関する設定を行います。
詳しくは、「通信に関する設定」（☞67ページ）をお読みください。

コントローラー
システムコントローラーから制御をする場合に使用するカメラ番号、グループ番号、シーケンス番号の設定を行います。
詳しくは、「コントローラーに関する設定」（☞69ページ）をお読みください。

メンテナンス
本ソフトウェアのバージョン情報、ログに関する設定および設定した情報の管理を行います。
詳しくは、「メンテナンスに関する設定」（☞75ページ）をお読みください。

付属品をご確認ください

CD-ROM 1枚
インストールガイド 1冊
ハードウェアキー（USBキー） 1個

!!重要!!
- CD-ROMには、本ソフトウェアのインストールプログラムと取扱説明書（設定編・運用編）、Readme.txtファイル、システムコントローラー DG-CU950 セットアップツールが収められています。インストールする前に、Readme.txtを必ずお読みください。
- 本ソフトウェアを使用するには、ハードウェアキー（USBキー）が必要です。本ソフトウェアを使用する前に、お客様がご使用になるパソコンへ付属のハードウェアキー（USBキー）を必ず差し込んでください。

取扱説明書について

取扱説明書（PDFファイル）は、本書と取扱説明書 運用編の2部構成になっています。
本書は設定ソフトウェアをインストールする方法と、運用を開始する前に必要な機能の設定方法について管理者向けに説明しています。
ネットワークに関する設定は、接続する社内LANやサービスプロバイダーの設定により異なる場合があります。
ネットワークに関する設定について詳細は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
機能ごとの操作方法については、「DG-ASM100シリーズ取扱説明書 運用編」をお読みください。
本書ではMicrosoft® Windows® XP Professionalをご使用の場合を例に説明しています。
ほかのOSをご使用の場合やOSの設定によっては、画面表示が異なる場合があります。
その他のOSをご使用の場合、該当するOSの取扱説明書をお読みください。

必要なPCの環境

!!重要!!　PCを用意される際にご注意ください。
- 使用するPCのユーザーアカウントに2バイト文字（全角文字）が使用されていると、本ソフトウェアのインストール時に必要なファイルがインストールされず、正常に運用できません。ユーザーアカウントは必ず半角英数字を使用してください。

本ソフトウェアは以下のシステム環境を持つPCにインストールできます。

OS※1	Microsoft® Windows® 7 Professional 32ビット日本語版※2 Microsoft® Windows® 7 Professional 64ビット日本語版※2 ※3 Microsoft® Windows Vista® Business SP2 32ビット 日本語版※2 Microsoft® Windows Vista® Business SP2 64ビット 日本語版※2 ※3 Microsoft® Windows® XP Professional SP3 日本語版 Microsoft® Windows® XP Home Edition SP3 日本語版
コンピューター	IBM PC／AT互換機
CPU	Intel® Core™ 2 Duo 2.66 GHz以上 Intel® Core™ 2 Quad Q9650以上（H.264画像使用時） Intel® Core™ i7-920 以上（H.264画像使用時）

メモリー	1 GB以上 3 GB以上（H.264画像使用時）
グラフィックアクセラレーター	VRAM128 MB以上（最低64 MB以上）でDirectX® 9.0c以上の機能を持つもの
CD-ROMドライブ	本ソフトウェアのインストール時に必要
USBポート	ハードウェアキー取り付けのために必要
ハードディスク容量	3 GB程度必要※4
画面	1 024×768ピクセル以上の解像度（1 280×1 024ピクセルの解像度を推奨）、True color 24ビット以上 （フルカラー環境を推奨）
インターフェース	100／1 000 Mbpsのネットワークインターフェースカードが内蔵されていること※5

※1：本ソフトウェアは、Microsoft® Windows® XP、Microsoft® Windows Vista®、Microsoft® Windows® 7のデフォルトのスタイルおよびフォントサイズでデザインされています。スタイルまたはフォントサイズを変更する場合は、十分ご注意ください。
※2：Microsoft® Windows Vista®、Microsoft® Windows® 7で使用する場合に必要なPC環境や、注意事項など詳しくは、Readme.txtをお読みください。
※3：WOW64（32ビット互換モード）で動作します。
※4：本ソフトウェアを使用するためには、Microsoft® .NET Framework 2.0 SP1および、Microsoft® SQL Server 2005 Express Edition SP3をインストールする必要があります。また、アプリケーションのインストールとは別に、レコーダーからダウンロードした画像の保存先、データベースの保存先として使用するためのハードディスク容量を用意する必要があります。
※5：PCのネットワーク設定は、お客様のネットワーク環境にあわせて設定していただく必要があります。また、複数のネットワークインターフェースカードを用いて本ソフトウェアを使用した場合の動作は保証いたしません。

!!重要!!

- 本ソフトウェアのインストールは、「コンピューターの管理者」権限のあるユーザーが行ってください。管理者以外のユーザーがインストールした場合の動作は保証いたしません。
- 本ソフトウェアでは、データベースにMicrosoft® SQL Server 2005 Express Editionを使用しています。それ以外のデータベースをインストールするとデータベースが壊れて、正常に動作しないことがあります。
- リモートデスクトップ上での動作は保障いたしません。
- 本ソフトウェアの起動中はPCのログオフおよびシャットダウンを行わないようにしてください。動作が不安定になる場合があります。
- 複数のアプリケーションと同時に本ソフトウェアを動作させた場合、CPUやメモリーなどの資源不足により、動作が不安定になる場合があります。負荷の高いアプリケーションと同時に使用しないでください。
- サウンドカードがないと、アラーム発生時および障害発生時に音が鳴りません。また、送受話が正常に動作しません。
- Microsoft® Windows® XP Professional x64 Editionには対応していません。
- Microsoft® Windows® 7におけるWindowsXPモードには対応していません。

MPEG-4およびH.264画像使用時の推奨カメラ設定

カメラの1クライアントあたりのビットレート設定は、お使いのPCのCPUの性能に応じて以下のように設定してください。定められたビットレート以上を設定しますと、マウスカーソルが砂時計のまま操作できなくなるなど本ソフトウェアが正常に動作しないことがあります。その場合は、お手数ですが本ソフトウェアを強制終了後、適切なビットレートに設定してください。

■ MPEG-4画像使用時（VGA）

CPU	推奨ビットレート
Intel® Core™ 2 Duo 2.66GHz	2 048 kbps※
Pentium® D 3.0GHz	1 024 kbps
Pentium® 4 3.0GHz	512 kbps

※ライブモニターを使用して17画以上の表示を行う場合は、1 536 kbpsにしてください。
カメラの画質設定は「標準」です。

■ H.264画像使用時（VGA）

CPU	推奨ビットレート
Intel® Core™ i7-860	1 024 kbps（30 fps）
Intel® Core™ 2 Quad Q9650	1 024 kbps（30 fps）
Intel® Core™ 2 Duo 2.66GHz	768 kbps（15 fps）

商標および登録商標について

- Microsoft、Windows、Windows Vista、Internet Explorer、DirectXは、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Intel、Pentium、Intel Coreは米国およびその他の国におけるIntel Corporation の商標または登録商標です。
- Adobe、Adobeロゴ、およびReaderは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびに他国における商標または登録商標です。
- その他、本文中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

略称について

このドキュメントでは以下の略称を使用しています。

- Microsoft® Windows® XP Professional SP3 日本語版、Microsoft® Windows® XP Home Edition SP3 日本語版をWindows XPと表記しています。
- Microsoft® Windows Vista® Business SP2 32ビット日本語版、Microsoft® Windows Vista® Business SP2 64ビット日本語版をWindows Vistaと表記しています。
- Microsoft® Windows® 7 Professional 32ビット日本語版、Microsoft® Windows® 7 Professional 64ビット 日本語版をWindows 7と表記しています。

用語について

本書では、以下の用語を用いて説明しています。

管理者
本ソフトウェアの管理／運用に関する責任および権限を持った人のことです。

ユーザー
本ソフトウェアを操作する人のことです。管理者と登録ユーザーが存在します。本ソフトウェアの設定やメンテナンスは、管理者のみ可能です。

レコーダー
パナソニック製ネットワークディスクレコーダー、デジタルディスクレコーダーのことです。対応機器については、「対応機器一覧」(☞4ページ）をお読みください。

エンコーダー
パナソニック製ネットワークインターフェースユニットのことです。対応機器については、「対応機器一覧」(☞4ページ）をお読みください。

固定カメラ
パン・チルト機能を持たないカメラです。

PTZカメラ
パン・チルト・ズーム機能を持つカメラです。

ライブ画像
カメラの現在の画像です。

カメラ直接受信
ネットワークディスクレコーダーに登録されているカメラのライブ画像をレコーダーを経由せずに、カメラから直接受信することです。

グループ表示
カメラの画像を1つのグループに登録し、登録したグループ単位で画像を表示することです。

シーケンス
カメラの画像を決められた順番でグループ単位で自動的に切り換えて表示することです。本ソフトウェアでは、ライブ画像を表示するときにシーケンスを行うことができます。

電子ズーム
ライブ画像・再生画像を拡大表示する機能です。カメラ操作のズーム機能はカメラが持つズーム機能で画像を拡大表示するのに対し、電子ズーム機能はソフトウェア上で画像の拡大処理を行い表示します。
電子ズームでの拡大表示中は、画像内をクリックするとクリックした位置を中心に表示領域を移動させることができます。

カメラ操作
接続したカメラのパン／チルト（水平・垂直位置）、ズーム（画像の拡大・縮小）、フォーカス（焦点）、自動モード機能（カメラの自動回転など）操作、明るさ、プリセット動作（登録した水平・垂直位置への移動）、プリセット登録、AUX動作を行うことです。

ネットワーク再生
レコーダーからネットワーク経由で画像データを取得しながら再生を行うことです。

マニュアル録画
［録画開始］ボタン、［録画停止］ボタンをクリックして手動で録画を開始・終了する機能です。

ダウンロード
レコーダーに録画されている画像を、レコーダーのFTP機能を使用し、PCへ転送することです。

AVMD情報
物体の移動や置き去り／持ち去りに関するアラーム情報です。AVMD情報表示を「ON」にすると、アラームを検知した際に、画像上に枠や軌跡が表示されます。
お使いの機器が対応しているかご確認ください。詳しくは、別冊の「機器別機能一覧」をお読みください。
また、AVMDに関する詳しい説明は対応している機器の取扱説明書をお読みください。

画像ファイル
レコーダーに録画されている画像をダウンロードしたものです。

ファイル再生
専用のビューワーソフトを使用して画像ファイルの再生を行うことです。

独自アラーム通知機能
機器の独自アラーム通知機能により送信されるアラーム通知および機器障害通知を利用する機能です。

アプリケーションログ
レコーダーから取得したアラーム情報や機器障害情報および、本ソフトウェアのシステム情報などの記録です。アプリケーションログには以下の種類があります。
アラームログ、機器障害ログ、ネットワーク障害ログ、システムログ、操作ログ

レコーダーログ
レコーダーに発生した障害やアクセスなどの記録です。
レコーダーログはレコーダーが作成します。
レコーダーログには以下の種類があります。
障害ログ、アクセスログ、イベントログ、ネットワークログ

M-JPEG
カメラから連続的にJPEG画像を送信してくる動画方式です。カメラ側から画像を1枚1枚取得する方式に比べ、ネットワークの負荷は下がりますが、カメラ側の状態により配信レートは変動します。カメラによってはJPEGと表現される場合があります。

録画イベント
録画を開始するきっかけとなるイベントや操作のことです。録画イベントには以下の種類があります。
マニュアル、スケジュール、緊急、サイトアラーム、端子アラーム、コマンドアラーム、VMD、ビデオロス、SDメモリー

SDメモリーデータ（SDメモリー録画）
SDメモリー録画とは、カメラに搭載されているSDメモリーカードに保存されている画像をレコーダーに転送する機能です。SDメモリーデータとはその録画画像のことを指します。SDメモリーデータの録画時刻はカメラが持つ時刻です。

設定ソフトウェア
運用ソフトウェアを使用するために必要な設定を行うアプリケーションです。

運用ソフトウェア
接続しているレコーダー、エンコーダー、カメラのライブ画像の表示、レコーダーに録画されている画像のダウンロード、再生操作、検索、およびカメラ操作などを行うアプリケーションです。

操作モニター
ライブ、再生、シーケンス、カメラ操作、検索などの本ソフトウェアにおけるすべての操作を行う基本画面のことです。

ライブモニター
ライブ画像のグループ表示およびシーケンスのみを行うライブ専用の画面のことです。

マップモニター
カメラアイコンを配置したマップを表示する画面のことです。マップ上のカメラアイコンからライブ表示を行います。

もくじ

はじめに

準備

設定

設定

その他

はじめに
準備
設定
その他

運用までの流れ

準備

本ソフトウェアを運用するまでの流れは以下のとおりです。

1 **本ソフトウェアのインストール**

本ソフトウェアをインストールします。
「インストールする」（☞17ページ）をお読みください。

2 **設定ソフトウェアの起動**

設定ソフトウェアを起動します。
「設定ソフトウェアの起動と終了」（☞19ページ）をお読みください。

3 運用に必要な項目を設定します。

- **システムに関する設定（☞21ページ）**
- **機器管理に関する設定（☞24ページ）**
- **ユーザー管理に関する設定（☞43ページ）**
- **カメラに関する設定（☞52ページ）**
- **モニターに関する設定（☞59ページ）**
- **イベント動作に関する設定（☞64ページ）**
- **通信に関する設定（☞67ページ）**
- **コントローラーに関する設定（☞69ページ）**
- **メンテナンスに関する設定（☞75ページ）**

メモ

- 各種ボタンをクリックすると、メッセージが表示される場合があります。
「表示メッセージと対処方法」（☞93ページ）をお読みになり、正しい操作を行ってください。

4 **設定ソフトウェアの終了**

設定ソフトウェアを終了します。
「設定ソフトウェアの起動と終了」（☞19ページ）をお読みください。

5 **ファイアウォールの例外設定**

ダウンロード機能および、独自アラーム通知機能（アラーム通知、障害通知）を使用する場合はファイアウォールの例外設定を行います。「ファイアウォールの例外設定」（☞89ページ）をお読みください。

運用開始

運用ソフトウェアを起動し、操作を開始します。

インストール／アンインストール

インストールする

本ソフトウェアをインストールします。

!!重要!!
- 本ソフトウェアをインストールする場合は、必ずWV-AS65、DG-ASM10をアンインストールしてください。WV-AS65またはDG-ASM10と本ソフトウェアが両方インストールされた状態での動作は保証していません。
- 本ソフトウェアを再インストールする場合は、必ずアンインストールしてください。上書きインストールは動作不安定の原因となります。なお、本ソフトウェアをアンインストールすると、設定データが削除されます。必要な場合は、アンインストールする前に必ず設定データをセーブしてください。
- すでに該当のソフトウェアがインストールされている場合、手順2、3は行う必要はありません。

準備

1 付属のCD-ROMをPCのCD-ROMドライブにセットします。

2 「1 dotNetFramework2.0」フォルダ内の「dotnetfx.exe」をダブルクリックします。
→Microsoft® .NET Framework 2.0 SP1のインストーラーが起動します。画面の指示にしたがってインストールしてください。

3 「2 SQLServer2005」フォルダ内の「SQLServerSetup.exe」をダブルクリックします。
→Microsoft® SQL Server 2005 Express Edition SP3のインストーラーが起動します。画面の指示にしたがってインストールしてください。

4 「3 ディスクレコーダー管理ソフトウェア」フォルダ内の「setup.exe」をダブルクリックします。
→ディスクレコーダー管理ソフトウェアのインストーラーが起動します。画面の指示にしたがってインストールしてください。インストール中に「Aladdin HASP SRM Run-time Environment Installer v....」画面が表示されたら、[OK]ボタンをクリックしてインストールを続けてください。標準設定のままインストールすると、「C:¥Program Files¥Panasonic¥ASM100」フォルダが作成され、実行ファイルなどがコピーされます。

5 ファイアウォールの例外設定をします。詳しくは「ファイアウォールの例外設定」(☞89ページ)をお読みください。

6 PCを再起動します。手順1から手順5まで行ったら、最後にPCを再起動してください。

!!重要!!
- 運用ソフトウェアを起動する前に、設定ソフトウェアでユーザーの登録、機器の登録など、運用ソフトウェアの操作に必要な情報を設定してください。

アンインストールする

!!重要!!

- 本ソフトウェアをアンインストールすると、設定データが削除されます。必要な場合は、アンインストールする前に必ず設定データをセーブしてください。設定データをセーブする方法については、「セーブする（保存）」（☞86ページ）をお読みください。
- 本ソフトウェアをアンインストールしてもレコーダーから取得したファイルは削除されません。
- 本ソフトウェアをアンインストールしてもMicrosoft®.NET Framework 2.0 SP1、Microsoft® SQL Server 2005 Express Edition SP3はアンインストールされません。必要な場合は本ソフトウェアをアンインストール後に、下記の順番でアンインストールしてください。順番どおりにアンインストールしない場合、動作不安定の原因になります。
  ①Microsoft® SQL Server 2005 Express Edition SP3
  ②Microsoft® .NET Framework 2.0 SP1
- 本ソフトウェアをアンインストールする際、アプリケーションの終了を求める画面が表示されましたら［キャンセル］ボタンをクリックしてインストールを中止し、該当するサービスを停止してから再度アンインストールを行ってください。サービスの停止方法については、別途お使いのOSの取扱説明書をお読みください。

1 ［コントロールパネル］－［プログラムの追加と削除］を選択します。

2 現在インストールされているプログラムから「DG-ASM100シリーズ」を選択し、［削除］ボタンをクリックします。
→アンインストールプログラムが起動します。

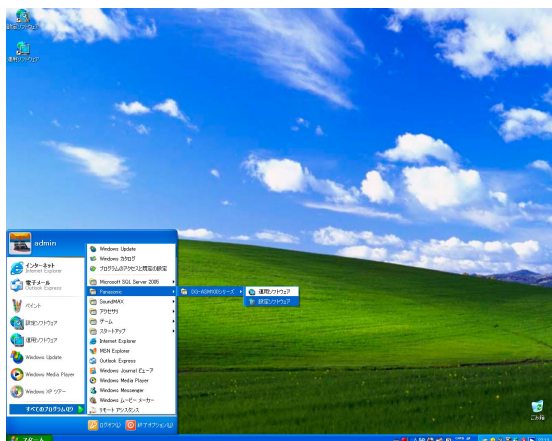
3 画面の指示にしたがってアンインストールします。

準備

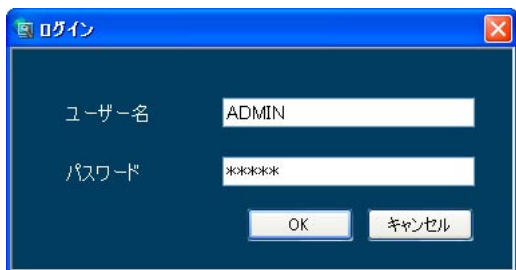
設定ソフトウェアの起動と終了

!! 重要 !!

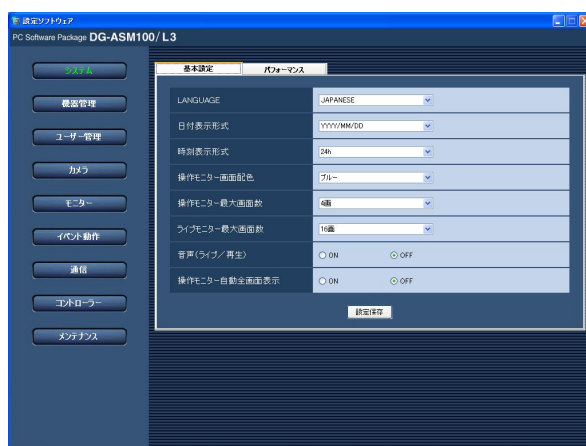
- 同梱されているハードウェアキーをUSBポートに取り付けてください。ハードウェアキーが取り付けられていない場合、デモ版での起動となります。デモ版での起動は制限期間内のみ有効となります。
- 本ソフトウェアをインストール後、PCを再起動していない場合はハードウェアキーが認識されないことがあります。その場合、必ずPCを再起動してください。

1 スタートメニューの［すべてのプログラム（P)］-［Panasonic］-［DG-ASM100シリーズ］-［設定ソフトウェア］を選択、またはデスクトップ上の［設定ソフトウェア］アイコンをダブルクリックし、設定ソフトウェアを起動します。
→ログイン画面が表示されます。

!! 重要 !!

- 設定ソフトウェアの起動は、運用ソフトウェアを終了してから行ってください。
運用ソフトウェアが起動していると、設定ソフトウェアを起動できません。

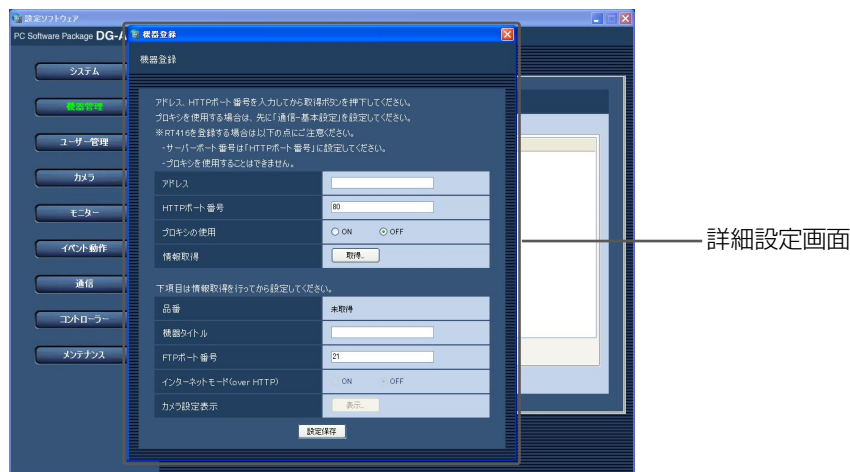
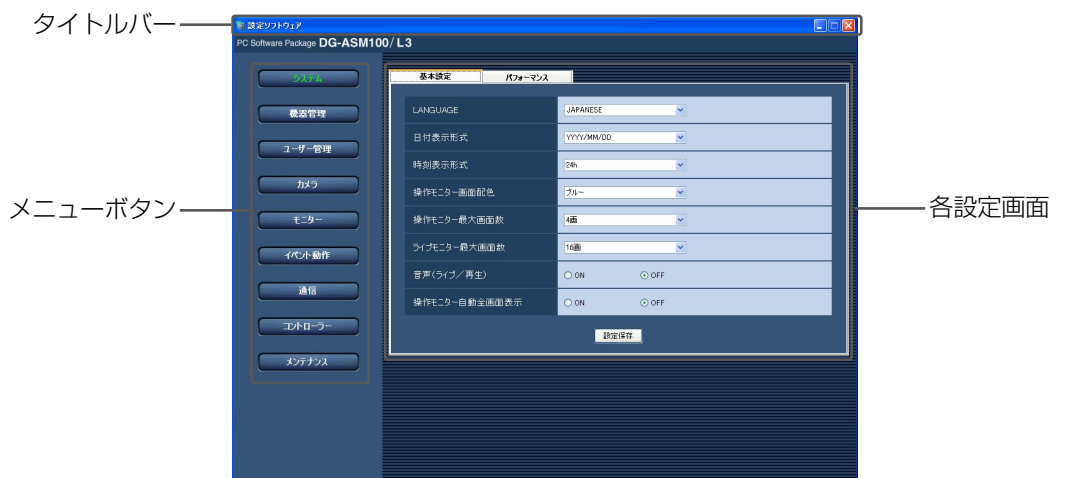
2 登録している「ユーザー名」と「パスワード」を入力します。
→インストール直後は、管理者のみ登録されています。ユーザー名「ADMIN」、パスワード「12345」を入力してください。

!! 重要 !!

- 管理者のパスワードは、セキュリティを確保するため、必ず「12345」以外に変更してください。また、定期的に変更することをおすすめいたします。パスワードの変更方法は、「管理者情報を設定する［管理者設定］」(☞44ページ）をお読みください。

3 ［OK］ボタンをクリックします。
→設定画面が表示されます。

4 設定ソフトウェアを終了するときは、タイトルバーの［×］ボタンをクリックします。

→設定ソフトウェアが終了します。

設定画面について

設定ソフトウェアを起動すると、設定画面が表示されます。

■タイトルバー
設定ソフトウェアのタイトルが表示されます。

■メニューボタン
メニューボタンをクリックすると、各設定画面が表示されます。

■各設定画面
メニューボタンでクリックした設定メニューの設定画面が表示されます。ページが複数のタブで構成されている場合は、各タブをクリックします。

■詳細設定画面
設定画面内のボタンをクリックすると、詳細な情報を入力する詳細設定画面が表示されます。

!! 重要 !!

- 各設定画面で設定した内容を保存するには、必ず［設定保存］ボタンをクリックしてください。［設定保存］ボタンをクリックしないと、設定した内容は保存されません。
- 詳細設定画面で設定した内容を保存するには、必ず［設定保存］ボタンをクリックしてください。［設定保存］ボタンをクリックせずに画面を終了すると、設定した内容は保存されません。
- 設定した内容にエラーがある場合、エラー項目が赤色で表示されます。エラー項目を修正し、再設定してください。

システムに関する設定

使用する言語、日時の表示形式、操作モニターの画面配色、最大画面数、音声、操作モニターの自動全画面表示、最大画像更新速度を設定します。

言語・日付・時刻の表示形式などを設定する［基本設定］

［システム］ボタンをクリックし、［基本設定］タブをクリックして、基本設定画面を表示します。

■ LANGUAGE

表示される言語を選択します。

JAPANESE　：日本語
ENGLISH　　：英語

お買い上げ時の設定：JAPANESE

!!重要!!

- ［設定保存］ボタンをクリックしただけでは、設定した内容は本ソフトウェアへ反映されません。LANGUAGEの設定内容を反映したいときは、必ず、本ソフトウェアを再起動してください。

■ 日付表示形式

日付の表示形式を選択します。

例）2007年4月1日の場合

YYYY/MM/DD　　：2007/04/01
MM/DD/YYYY　　：04/01/2007
Mmm/DD/YYYY　：Apr/01/2007
DD/MM/YYYY　　：01/04/2007
DD/Mmm/YYYY　：01/Apr/2007

お買い上げ時の設定：YYYY/MM/DD

■ 時刻表示形式

時刻の表示形式を選択します。

例）午後3時00分00秒の場合

12 h：03:00:00 PM
24 h：15:00:00

お買い上げ時の設定：24 h

メモ

- 「日付表示形式」「時刻表示形式」が反映されるのは、以下のとおりです。各部位については「DG-ASM100シリーズ取扱説明書　運用編」をお読みください。
  ステータスバー、情報表示部、アラーム通知メッセージ画面、障害通知メッセージ画面、各種ログリスト

■操作モニター画面配色

操作モニターの配色を選択します。

ブルー　：操作モニターの配色をブルーにします。
シルバー：操作モニターの配色をシルバーにします。

お買い上げ時の設定：ブルー

■操作モニター最大画面数
操作モニターの最大画面数を以下から選択します。
　1画／4画／9画／16画
お買い上げ時の設定：4画

■ライブモニター最大画面数
ライブモニターの最大画面数を以下から選択します。
　- -／1画／4画／9画／16画
お買い上げ時の設定：16画

✐**メモ**✐
- ライブモニターを使用しない場合は「- -」を選択してください。

■音声(ライブ／再生)
音声機能を使用するかどうかを選択します。
　ON ：音声（送話／受話）機能を使用します。
　OFF：音声（送話／受話）機能を使用しません。
お買い上げ時の設定：OFF

■操作モニター自動全画面表示
ログイン直後に操作モニターを自動的に全画面表示するかどうかを選択します。スタートモニターとしてグループが設定されている場合に有効です。
　ON ：全画面表示します。
　OFF：全画面表示しません。
お買い上げ時の設定：OFF

■［設定保存］ボタン
設定された内容を保存します。

最大画像更新速度を設定する［パフォーマンス］

［システム］ボタンをクリックし、［パフォーマンス］タブをクリックして、パフォーマンス画面を表示します。
ここでは、1秒間の最大画像更新速度を設定します。

✐メモ✐

- JPEG/VGA（ライブ／再生）の最大画像更新速度はお使いの動作環境にあわせて、設定値を変更してください。
  Intel® Core™ 2 Duo 2.66GHz：160 ips
  Pentium® D 3.0GHz：120 ips
  Pentium® 4 3.0GHz：80 ips
- 解像度がQXGA（2 048×1 536）、SXVGA※1（1 280×960）、SVGA（800×600）、QVGA（320×240）の画像についてはJPEG/VGA（ライブ／再生）の最大画像更新速度をそれぞれ入力された値に対して1/10倍、1/4倍、2/3倍、4倍して動作します。
  ※1　NP100＊のスキャンモードの設定がパーシャルの場合、画像サイズが960×720になります。
- 最大画像更新速度を画面数で割った値が、1画面あたりの最大画像更新速度になります。
  例）　最大画像更新速度が60ipsの場合に、4画で表示すると、1画面あたりの最大画像更新速度は15 ipsになります。
- カメラ直接受信時は、カメラ設定画面にて設定された画像更新速度(☞28ページ)と比較し、より値の小さい方が1画面あたりの最大画像更新速度になります。
- ネットワークの環境、カメラ側の設定、システム画面で設定した最大画像更新速度によっては、設定した更新速度より更新間隔が遅くなることがあります。
- MPEG-4およびH.264画像については本ソフトウェアにて最大画像更新速度を制御できません。詳しくは、「MPEG-4およびH.264画像使用時の推奨カメラ設定」（☞10ページ）をお読みください。
- レコーダーのプログラム機能の録画レートの設定によっては、正しい更新速度で画像が更新されないことがあります。
- 1台あたりのHD300に対するライブレート（ASM100の台数×HD300（ライブ））を15 ips以下に設定してください。

■ JPEG/VGA（ライブ／再生）

解像度がVGA（640×480）のJPEG画像に対するシステム全体での1秒間の最大画像更新速度を以下の範囲で入力します。
　1 ips～300 ips
お買い上げ時の設定：100 ips

■HD300(ライブ)

HD300のライブ画像に対するシステム全体での1秒間の最大画像更新速度を以下の範囲で入力します。
　1 ips～15 ips
お買い上げ時の設定：5 ips

■［設定保存］ボタン

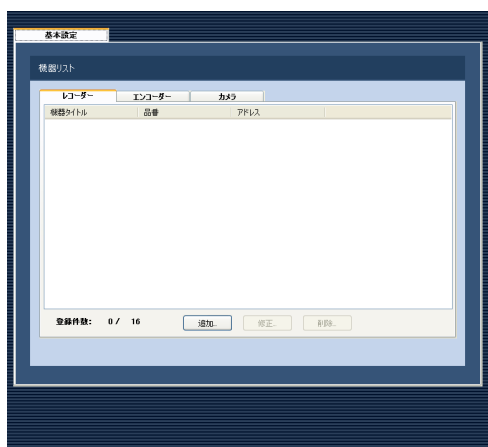
設定された内容を保存します。

機器管理に関する設定

機器の追加／修正／削除を行います。登録できる機器の台数は、品番により異なります。各機器の登録数については、「商品仕様」（☞3ページ）をお読みください。

レコーダーを追加する［基本設定］

1 ［機器管理］ボタンをクリックします。
→機器リスト画面が表示されます。

2 ［レコーダー］タブをクリックします。
→レコーダーの機器リスト画面が表示されます。

画面の説明は以下のとおりです。

■ **機器リスト**
登録されたレコーダーのタイトル、品番、アドレスを一覧表示します。

■ **登録件数**
登録されたレコーダーの台数を表示します。

■ **［追加...］ボタン**
機器登録画面を表示します。

■ **［修正...］ボタン**
機器リストで選択されたレコーダーの機器登録画面を表示します。

■ **［削除...］ボタン**
機器リストで選択されたレコーダーを削除します。

3 ［追加...］ボタンをクリックします。
→機器登録画面が表示されます。

✐メモ✐
- すでに最大台数を登録している場合は、［追加...］ボタンをクリックできません。

画面の説明は以下のとおりです。

■ **アドレス**
レコーダーのアドレスを入力します。アドレスは半角英数字255文字以内で入力します。

■ **HTTPポート番号**
HTTPポート番号を以下の範囲で入力します。
　1〜65535
お買い上げ時の設定：80

■ **プロキシの使用**
レコーダーに接続するときに、プロキシを使用するかどうかを選択します。
　ON　：プロキシを使用します。
　OFF　：プロキシを使用しません。
お買い上げ時の設定：OFF

!!重要!!
- カメラ直接受信時はプロキシサーバーを経由せずにライブ画像を受信します。

✐メモ✐
- プロキシのアドレスは通信画面の［基本設定］タブ（☞67ページ）で設定します。

■ ［取得...］ボタン
「アドレス」「HTTPポート番号」「プロキシの使用」に入力した条件で機器情報を取得します。

■ 品番
機器情報の取得時にレコーダーから取得したレコーダーの品番を表示します。機器情報の取得前は「未取得」と表示されます。

■ 機器タイトル
レコーダー名を入力します。機器タイトルは16文字以内で入力します。半角記号の！＄％’＜＝＞＠［￥］＾_｀{¦}˜は使用できません。

■ FTPポート番号
FTPポート番号を以下の範囲で入力します。
1〜65535
お買い上げ時の設定：21

!! 重要 !!
- Windows XPでファイアウォールを有効にしている場合、「FTPポート番号」に設定したポートを使用できるように設定する必要があります。「ファイアウォールの例外設定」（☞89ページ）の手順で設定を行ってください。

■ インターネットモード(over HTTP)
H.264およびMPEG-4画像をインターネット経由で受信する場合に選択します。ブロードバンドルーターの設定をJPEG画像配信時と同じ設定のままでH.264およびMPEG-4画像を配信することができます。
ON ：HTTPポートを使用してH.264およびMPEG-4画像、音声を受信します。
OFF ：UDPポートを使用してH.264およびMPEG-4画像、音声を受信します。
お買い上げ時の設定：OFF

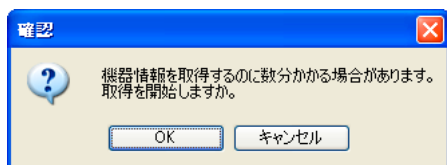
!! 重要 !!
- HD600（バージョン2.04以降）およびNV200（バージョン1.04以降）の場合のみ設定できます。

■ ［表示...］ボタン
取得したカメラ設定の情報画面を表示します。機器情報の取得前はボタンをクリックできません。

■ ［設定保存］ボタン
設定された内容を保存します。

4 「アドレス」、「HTTPポート番号」、「プロキシの使用」を入力します。

5 ［取得...］ボタンをクリックします。

!! 重要 !!
- 機器情報の取得をする前に、レコーダー本体のセットアップメニューの「ネットワークカメラ設定」を必ず行ってください。レコーダーが正しく設定されていないと、レコーダーの情報を取得できません。
- レコーダー本体の設定を変更した場合は、機器情報を再度取得し直してください。
- NV200をお使いの場合、カメラの登録はらくらくスタートで設定してください。らくらくスタートではなく手動でカメラを登録すると、カメラは品番ではなくカメラ区分で管理されます。カメラ区分についてはNV200に付属のCD-ROM内readme.txtをお読みください。

6 ［OK］ボタンをクリックします。

→機器情報取得中画面が表示されます。
機器情報取得を中止するには、機器情報取得中画面の［キャンセル］ボタンをクリックしてください。

7 画面表示を確認し、次の手順に進みます。

＜機器情報の取得が完了した場合＞

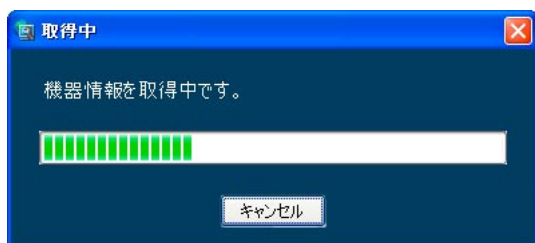
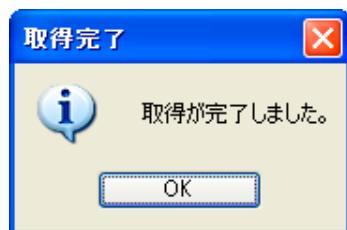
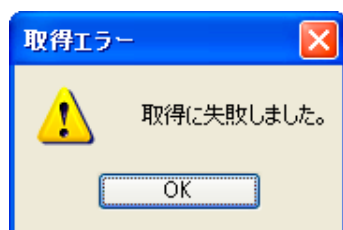
1. ［OK］ボタンをクリックします。

→取得完了画面が閉じ、機器登録画面に戻ります。

2. 手順8へ進みます。

＜機器情報の取得が失敗した場合＞

1. 画面に表示されている失敗内容を確認します。

✐メモ✐

- 入力した機器情報にミスがないかどうかを確認してください。入力が正しい場合、接続した機器、または機器のバージョンが対応していない可能性があります。詳しくは「対応機器一覧」（☞4ページ）をお読みください。
- 表示メッセージと対処方法については、表示メッセージと対処方法の「機器登録画面の[取得...]ボタンクリック時」（☞95ページ）をお読みください。

2. ［OK］ボタンをクリックします。
→取得エラー画面が閉じます。

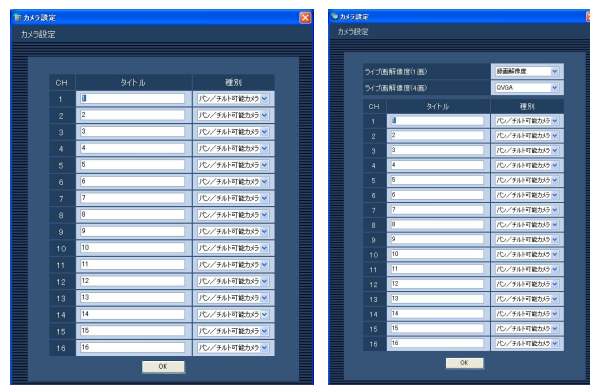
3. 機器登録画面に戻り、設定内容を確認します。

4. 再度、機器情報を取得します。

8 「機器タイトル」、「FTPポート番号」の機器情報を入力します。

設定

9 ［表示...］ボタンをクリックします。
→カメラ設定画面が表示されます。

<ネットワークディスクレコーダーのカメラ設定画面>

<HD300のカメラ設定画面>

<HD600のカメラ設定画面>

画面の説明は以下のとおりです。

■ カメラCHタブ
チャンネルを切り換えます。

✐メモ✐
- レコーダーによって表示されるタブが変わります。
- HD300、HD600はタブが表示されません。

■ CH
チャンネル番号が表示されます。

■ タイトル
レコーダーから取得したカメラ名を表示します。表示した名称は変更できます。
カメラ名は16文字以内で入力します。半角記号の！$ % ’ < = > @ [￥] ^ _ ` { ¦ } ˜は使用できません。

✐メモ✐
- HD600やNV200でカメラタイトルに半角記号の! $% ’ < = > @ [￥] ^ _ ` { ¦ } ˜を使用していた場合、半角スペースに置き換わります。

■ 品番
レコーダーから取得したカメラの品番を表示します。
カメラが設定されていないチャンネルは、「- -」が表示されます。

✐メモ✐
- NV200のらくらくスタートでカメラを登録した場合、品番には「DG-」や「WJ-」は表示されません。
- NV200でらくらくスタートではなく手動でカメラを登録した場合、品番にはカメラ区分が表示されます。

■ 種別
レコーダーから取得したカメラの種別を表示します。
パン/チルト可能カメラ：カメラ操作はすべて可能となります。
固定カメラ：カメラ操作のうち、自動モード機能、パン/チルト操作、プリセットができません。
お買い上げ時の設定：
ネットワークディスクレコーダーの場合は、カメラの品番によって異なります。HD300、HD600の場合は、「パン／チルト可能カメラ」になります。

✐メモ✐
- 種別を変更してもマップにすでに登録されているカメラアイコンは変更されません。

■ ライブ取得先
ライブ画像の取得先を選択します。
レコーダー：レコーダーを経由してライブ画像を見ることができます。
カメラ：カメラのライブ画像を直接見ることができます（カメラ直接受信）。
「カメラ」を選択した場合でも、レコーダーにカメラの登録が必要です。カメラの登録方法については、お使いのレコーダーの取扱説明書をお読みください。
お買い上げ時の設定：レコーダー

✐メモ✐

- カメラ直接受信時は、レコーダーのライブ配信設定が「OFF」の場合でもライブ画像を見ることができます。
- カメラを選択するとメッセージが表示されることがあります。表示メッセージと対処方法については、表示メッセージと対処方法の「カメラ設定画面のライブ取得先選択時」（☞96ページ）をお読みください。

■ 圧縮方式

カメラの品番ごとに圧縮方式を選択します。H.264またはMPEG-4に対応したカメラで、「ライブ取得先」を「カメラ」にしないと選択できません。

M-JPEG ：ライブ画像をM-JPEGで見ることができます。

MPEG-4：ライブ画像をMPEG-4で見ることができます。

H.264 ：ライブ画像をH.264で見ることができます。

お買い上げ時の設定：
レコーダーで設定されている内容を表示します。
レコーダーでのカメラの圧縮方式の設定方法については、お使いのレコーダーの取扱説明書をお読みください。

■ 解像度（JPEG）

解像度を選択します。
解像度は、「ライブ取得先」を「カメラ」、「圧縮方式」を「M-JPEG」にしないと選択できません。

AUTO※1：1画および4画の場合、VGA（640×480）の画像を各画面数の表示サイズにあわせて見ることができます。9画および16画の場合、QVGA（320×240）の画像を各画面数の表示サイズにあわせて見ることができます。

QVGA ：QVGA（320×240）の画像を各画面数の表示サイズに合わせて見ることができます。

VGA ：VGA（640×480）の画像を各画面数の表示サイズに合わせて見ることができます。

SVGA ：SVGA（800×600）の画像を各画面数の表示サイズに合わせて見ることができます。

SXVGA※2：SXVGA（1 280×960）の画像を各画面数の表示サイズに合わせて見ることができます。

QXGA ：QXGA（2 048×1 536）の画像を各画面数の表示サイズに合わせて見ることができます。

※1 NP502またはNW502の撮像モードが3メガピクセルの場合は、「VGA」を選択した場合と同じ動作になります。

※2 NP100＊のスキャンモードがパーシャルの場合、画像サイズが960×720になります。

お買い上げ時の設定：
「ライブ取得先」が「カメラ」、「圧縮方式」が「M-JPEG」の場合は「AUTO」。それ以外の場合は「- -」。

■ 画像更新速度（JPEG）

カメラから1秒間に受信する最大画像更新速度を以下から選択します。画像更新速度は「ライブ取得先」を「カメラ」、「圧縮方式」を「M-JPEG」にしないと選択できません。

AUTO／0.1 ips／0.2 ips／0.3 ips／0.5 ips／1ips／2 ips／3 ips／5 ips／10 ips／15 ips／ALL

「AUTO」を選択すると、パフォーマンス画面で設定した最大画像更新速度に従い適切な値を設定します。
「ALL」を選択すると30ipsで設定します。
お買い上げ時の設定：
「ライブ取得先」が「カメラ」、「圧縮方式」が「M-JPEG」の場合は「AUTO」。それ以外の場合は「- -」。

✐メモ✐

- 「0.1ips」、「0.2ips」、「0.3ips」、「0.5ips」は、カメラの品番によっては選択できません。
- ネットワークの環境、カメラ側の設定、パフォーマンス画面で設定した最大画像更新速度によっては、設定した画像更新速度より更新間隔が遅くなることがあります。
- パフォーマンス画面の設定については、「最大画像更新速度を設定する［パフォーマンス］」（☞23ページ）をお読みください。

■ ストリーム種別(H.264・MPEG-4)

ストリーム種別を選択します。
H.264に対応したカメラで、「ライブ取得先」を「カメラ」、「圧縮方式」を「H.264」もしくは「MPEG-4」にしないと選択できません。

AUTO：1画の場合、H.264・MPEG-4（1）のストリームを使用します。4画、9画および16画の場合、H.264・MPEG-4（2）のストリームを使用します。

H.264・MPEG-4（1）：常にH.264・MPEG-4（1）のストリームを使用します。
H.264・MPEG-4（2）：常にH.264・MPEG-4（2）のストリームを使用します。
お買い上げ時の設定：H.264・MPEG-4（1）

✐メモ✐
- 「H.264・MPEG-4（1）」と「H.264・MPEG-4（2）」の各ストリームの設定については、お使いのカメラの取扱説明書をお読みください。
- 「AUTO」を選択する場合、「H.264・MPEG-4（1）」は1画面用の配信設定、「H.264・MPEG-4（2）」は多画面用の配信設定を行うと、ネットワークの使用帯域を軽減し、PCのCPU負荷を下げることができます。

■ アドレス
レコーダーから取得したカメラのアドレスを表示します。

■ ライブ画解像度（1画）
1画表示でのライブ映像の解像度を以下から選択します。
録画解像度：録画の際の解像度で配信されます。
QVGA　　：QVGAサイズで配信されます。
お買い上げ時の設定：録画解像度

■ ライブ画解像度（4画）
4画表示でのライブ映像の解像度を以下から選択します。
録画解像度：録画の際の解像度で配信されます。
QVGA　　：QVGAサイズで配信されます。
お買い上げ時の設定：QVGA

✐メモ✐
- 「録画解像度」、「QVGA」選択時の配信内容（配信レート、画質など）の設定についてはHD600の取扱説明書をお読みください。
- レコーダーから配信されるレートが低い場合、映像が表示されないことがあります。シーケンスをお使いの際はライブ画解像度（1画）、ライブ画解像度（4画）の設定を「QVGA」にしてください。

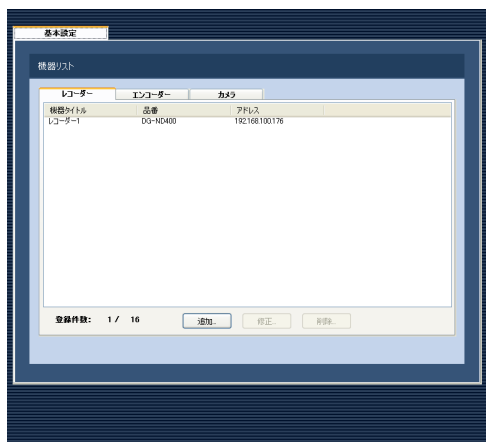
■ ［OK］ボタン
カメラ設定画面を閉じます。

10 情報を入力し、［OK］ボタンをクリックします。
→カメラ設定画面が閉じます。

✐メモ✐
- ［OK］ボタンをクリックしてカメラ設定画面を閉じても、設定は保存されません。カメラ設定画面を閉じた後、機器登録画面で［設定保存］ボタンをクリックしてください。

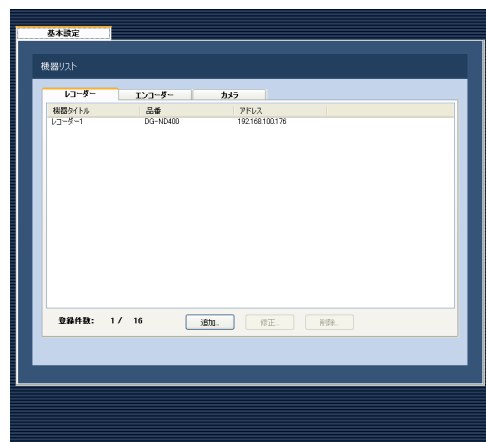
11 ［設定保存］ボタンをクリックします。
→設定が保存され、機器登録画面が閉じます。
機器リストにレコーダーが追加されます。

レコーダーを修正する［基本設定］

1 レコーダーの機器リスト画面を表示します。（☞24ページ）

2 機器リストから修正するレコーダーを選択し、［修正...］ボタンをクリックします。
→機器登録画面が表示されます。

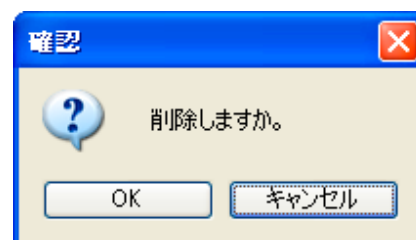
3 情報を入力し、［設定保存］ボタンをクリックします。各項目については「レコーダーを追加する［基本設定］」（☞24ページ）をお読みください。
→設定が保存され、機器登録画面が閉じます。

レコーダーを削除する［基本設定］

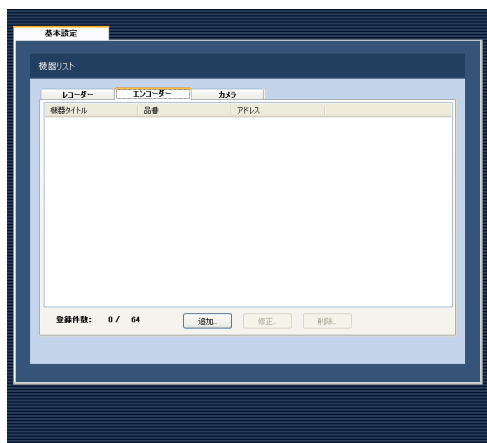
1 レコーダーの機器リスト画面を表示します。（☞24ページ）

2 機器リストから削除するレコーダーを選択します。

3 ［削除...］ボタンをクリックします。
→削除確認画面が表示されます。

4 ［OK］ボタンをクリックします。
→機器情報が削除されます。

設定

エンコーダーを追加する［基本設定］

1 ［機器管理］ボタンをクリックします。
→機器リスト画面が表示されます。

2 ［エンコーダー］タブをクリックします。
→エンコーダーの機器リスト画面が表示されます。

画面の説明は以下のとおりです。

■ **機器リスト**
登録されたエンコーダーのタイトル、品番、アドレスを一覧表示します。

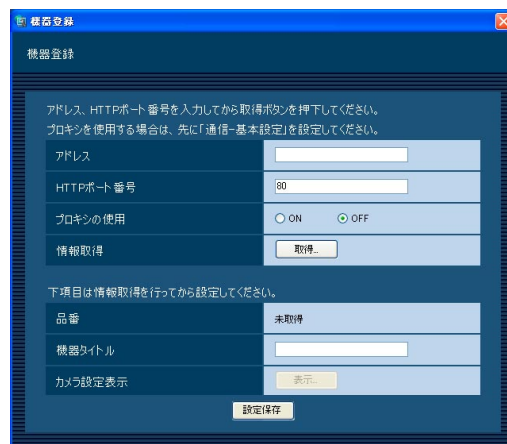
■ **登録件数**
登録されたエンコーダーの台数を表示します。

■ **［追加...］ボタン**
機器登録画面を表示します。

■ **［修正...］ボタン**
機器リストで選択されたエンコーダーの機器登録画面を表示します。

■ **［削除...］ボタン**
機器リストで選択されたエンコーダーを削除します。

3 ［追加...］ボタンをクリックします。
→機器登録画面が表示されます。

✐メモ✐
- すでに最大台数を登録している場合は、［追加...］ボタンをクリックできません。

画面の説明は以下のとおりです。

■ **アドレス**
エンコーダーのアドレスを入力します。アドレスは半角英数字255文字以内で入力します。

■ **HTTPポート番号**
HTTPポート番号を以下の範囲で入力します。
　1～65535
お買い上げ時の設定：80

■ **プロキシの使用**
エンコーダーに接続するときに、プロキシを使用するかどうかを選択します。
　ON　：プロキシを使用します。
　OFF　：プロキシを使用しません。
お買い上げ時の設定：OFF

✐メモ✐
- プロキシのアドレスは通信画面の［基本設定］タブ（☞67ページ）で設定します。

設定

機器管理に関する設定（つづき）

■ ［取得...］ボタン
「アドレス」「HTTPポート番号」「プロキシの使用」に入力した条件で機器情報を取得します。

■ 品番
機器情報の取得時にエンコーダーから取得したエンコーダーの品番を表示します。機器情報の取得前は「未取得」と表示されます。

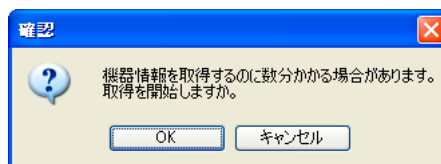
■ 機器タイトル
エンコーダー名を入力します。機器タイトルは16文字以内で入力します。半角記号の！＄％’ <＝>＠［￥］^ _ ` { ¦ } ~は使用できません。

■ ［表示...］ボタン
取得したカメラ設定の情報画面を表示します。機器情報の取得前はボタンをクリックできません。

■ ［設定保存］ボタン
設定された内容を保存します。

4 「アドレス」、「HTTPポート番号」、「プロキシの使用」を入力します。

5 ［取得...］ボタンをクリックします。

!! 重要 !!
● エンコーダー本体の設定を変更した場合は、機器情報を再度取得し直してください。

6 ［OK］ボタンをクリックします。

→機器情報取得中画面が表示されます。
機器情報取得を中止するには、機器情報取得中画面の［キャンセル］ボタンをクリックしてください。

7 画面表示を確認し、次の手順に進みます。

<機器情報の取得が完了した場合>

1. ［OK］ボタンをクリックします。

→取得完了画面が閉じ、機器登録画面に戻ります。

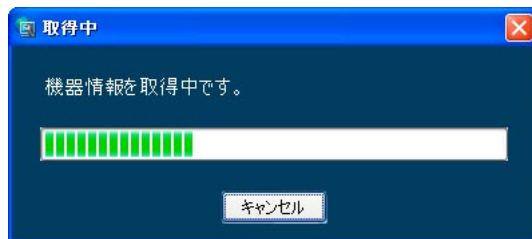
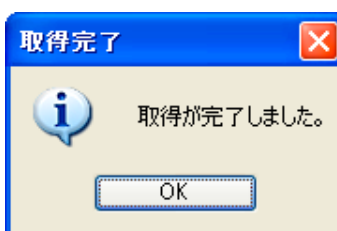
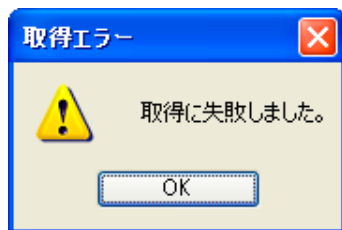
2. 手順8へ進みます。

設定

＜機器情報の取得が失敗した場合＞

1. 画面に表示されている失敗内容を確認します。

✐メモ✐
- 入力した機器情報にミスがないかどうかを確認してください。入力が正しい場合、接続した機器、または機器のバージョンが対応していない可能性があります。詳しくは「対応機器一覧」（☞4ページ）をお読みください。

---

2. ［OK］ボタンをクリックします。
   →取得エラー画面が閉じます。

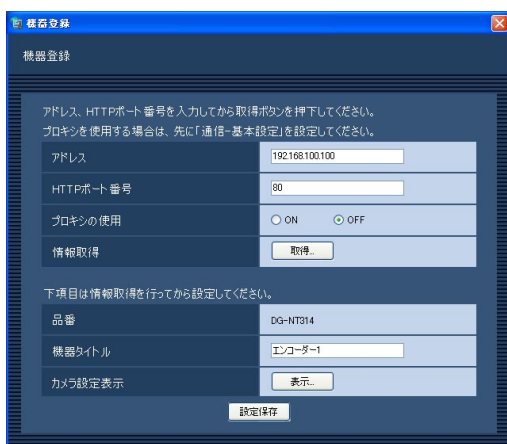
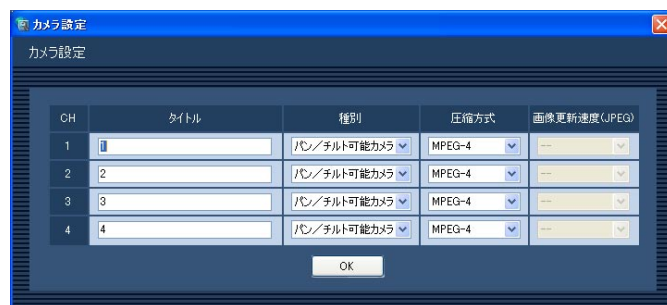
3. 機器登録画面に戻り、設定内容を確認します。

4. 再度、機器情報を取得します。

8 「機器タイトル」を入力します。

9 ［表示...］ボタンをクリックします。
→カメラ設定画面が表示されます。

＜GXE500のカメラ設定画面＞

＜NT304／NT314のカメラ設定画面＞

画面の説明は以下のとおりです。

■ CH
チャンネル番号が表示されます。

■ タイトル
カメラ名を入力します。カメラ名は16文字以内で入力します。半角記号の ! $ % ’ < = > @ [¥] ^ _ ` { ¦ } ˜ は使用できません。
お買い上げ時の設定：チャンネル番号

■ 種別
カメラの種別を選択します。
　パン/チルト可能カメラ：カメラ操作はすべて可能となります。
　固定カメラ：カメラ操作のうち、自動モード機能、パン/チルト操作、プリセットができません。
お買い上げ時の設定：パン／チルト可能カメラ

✐メモ✐
- 種別を変更してもマップにすでに登録されているカメラアイコンは変更されません。

■ 圧縮方式
圧縮方式を選択します。
M-JPEG ：ライブ画像をM-JPEGで見ることができます。
MPEG-4：ライブ画像をMPEG-4で見ることができます。
H.264 ：ライブ画像をH.264で見ることができます。
お買い上げ時の設定：
H.264に対応したエンコーダーの場合は「H.264」。それ以外の場合は「MPEG-4」。

■ 解像度（JPEG）
解像度を選択します。
解像度は、「圧縮方式」を「M-JPEG」にしないと選択できません。
AUTO ：1画および4画の場合、VGA（640×480）の画像を各画面数の表示サイズにあわせて見ることができます。9画および16画の場合、QVGA（320×240）の画像を各画面数の表示サイズにあわせて見ることができます。
QVGA：QVGA（320×240）の画像を各画面数の表示サイズに合わせて見ることができます。
VGA ：VGA（640×480）の画像を各画面数の表示サイズに合わせて見ることができます。
お買い上げ時の設定：
「圧縮方式」が「M-JPEG」の場合は「AUTO」。それ以外の場合は「- -」。

■ 画像更新速度（JPEG）
カメラから1秒間に受信する最大画像更新速度を以下から選択します。画像更新速度は「圧縮方式」を「M-JPEG」にしないと選択できません。
AUTO／0.1 ips／0.2 ips／0.3 ips／0.5 ips／1ips／2 ips／3 ips／5 ips／10 ips／15 ips／ALL
「AUTO」を選択すると、パフォーマンス画面で設定した最大画像更新速度に従い適切な値を設定します。
「ALL」を選択すると30ipsで設定します。
お買い上げ時の設定：
「圧縮方式」が「M-JPEG」の場合は「AUTO」。それ以外の場合は「- -」。

✐メモ✐
- ネットワークの環境、カメラ側の設定、パフォーマンス画面で設定した最大画像更新速度によっては、設定した画像更新速度より更新間隔が遅くなることがあります。
- パフォーマンス画面の設定については、「最大画像更新速度を設定する［パフォーマンス］」（☞23ページ）をお読みください。

■ ストリーム種別（H.264・MPEG-4）
ストリーム種別を選択します。
H.264に対応したエンコーダーで、「圧縮方式」を「H.264」もしくは「MPEG-4」にしないと選択できません。
H.264・MPEG-4（1）：常にH.264・MPEG-4（1）のストリームを使用します。
H.264・MPEG-4（2）：常にH.264・MPEG-4（2）のストリームを使用します。
お買い上げ時の設定：H.264・MPEG-4（1）

✐メモ✐
- 「H.264・MPEG-4（1）」と「H.264・MPEG-4（2）」の各ストリームの設定については、お使いのエンコーダーの取扱説明書をお読みください。

■ ［OK］ボタン
カメラ設定画面を閉じます。

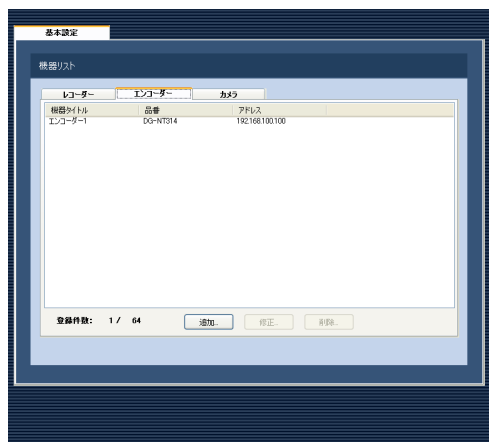
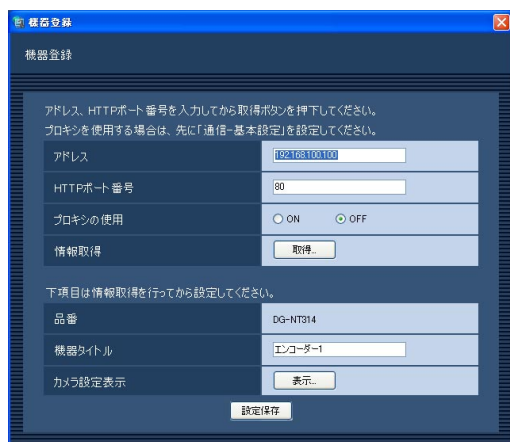
10 情報を入力し、［OK］ボタンをクリックします。
→カメラ設定画面が閉じます。

✐メモ✐
- [OK]ボタンをクリックしてカメラ設定画面を閉じても、設定は保存されません。カメラ設定画面を閉じた後、機器登録画面で［設定保存］ボタンをクリックしてください。

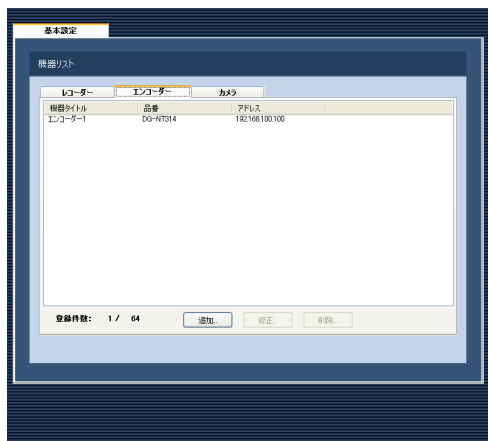
11 ［設定保存］ボタンをクリックします。
→設定が保存され、機器登録画面が閉じます。
機器リストにエンコーダーが追加されます。

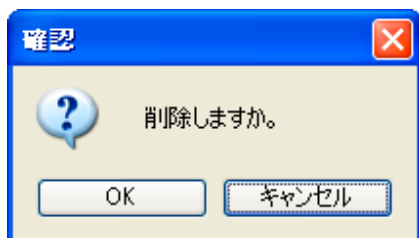
設定

エンコーダーを修正する［基本設定］

1 エンコーダーの機器リスト画面を表示します。
(☞31ページ)

2 機器リストから修正するエンコーダーを選択し、［修正...］ボタンをクリックします。
→機器登録画面が表示されます。

3 情報を入力し、［設定保存］ボタンをクリックします。各項目については「エンコーダーを追加する［基本設定］」(☞31ページ) をお読みください。
→設定が保存され、機器登録画面が閉じます。

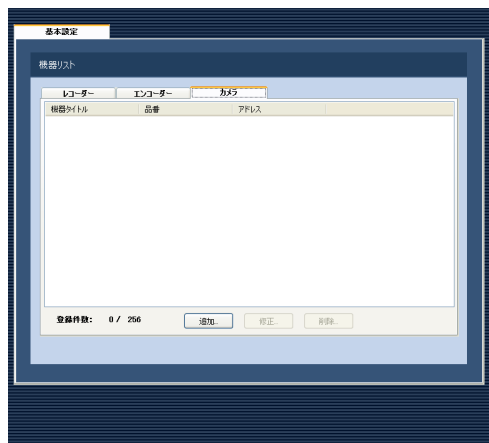
エンコーダーを削除する［基本設定］

1 エンコーダーの機器リスト画面を表示します。
（☞31ページ）

2 機器リストから削除するエンコーダーを選択します。

3 ［削除...］ボタンをクリックします。
→削除確認画面が表示されます。

4 ［OK］ボタンをクリックします。
→機器情報が削除されます。

カメラを追加する［基本設定］

1 ［機器管理］ボタンをクリックします。
→機器リスト画面が表示されます。

2 ［カメラ］タブをクリックします。
→カメラの機器リスト画面が表示されます。

画面の説明は以下のとおりです。

■ **機器リスト**
登録されたカメラのタイトル、品番、アドレスを一覧表示します。

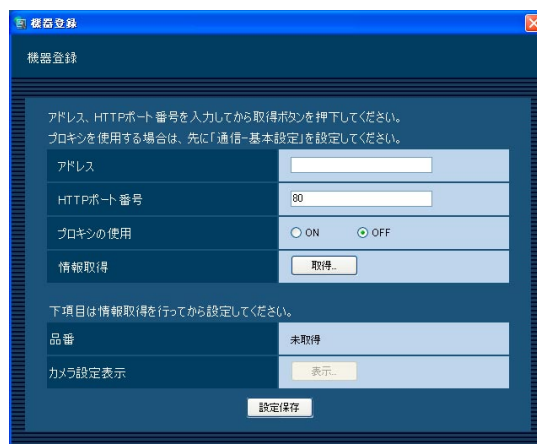
■ **登録件数**
登録されたカメラの台数を表示します。

■ **［追加...］ボタン**
機器登録画面を表示します。

■ **［修正...］ボタン**
機器リストで選択されたカメラの機器登録画面を表示します。

■ **［削除...］ボタン**
機器リストで選択されたカメラを削除します。

3 ［追加...］ボタンをクリックします。
→機器登録画面が表示されます。

メモ
- すでに最大台数を登録している場合は、［追加...］ボタンをクリックできません。

画面の説明は以下のとおりです。

■ **アドレス**
カメラのアドレスを入力します。アドレスは半角英数字255文字以内で入力します。

■ **HTTPポート番号**
HTTPポート番号を以下の範囲で入力します。
1～65535
お買い上げ時の設定：80

■ **プロキシの使用**
カメラに接続するときに、プロキシを使用するかどうかを選択します。
ON　：プロキシを使用します。
OFF　：プロキシを使用しません。
お買い上げ時の設定：OFF

メモ
- プロキシのアドレスは通信画面の［基本設定］タブ（☞67ページ）で設定します。

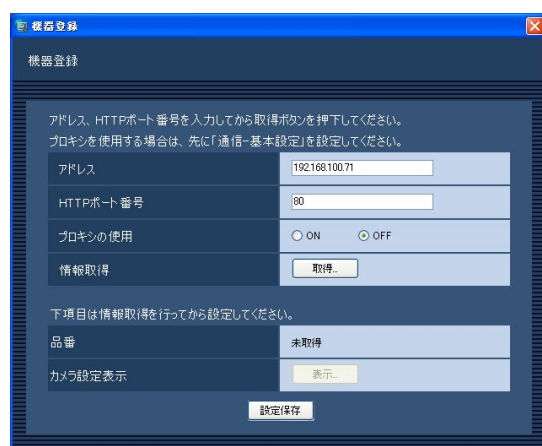
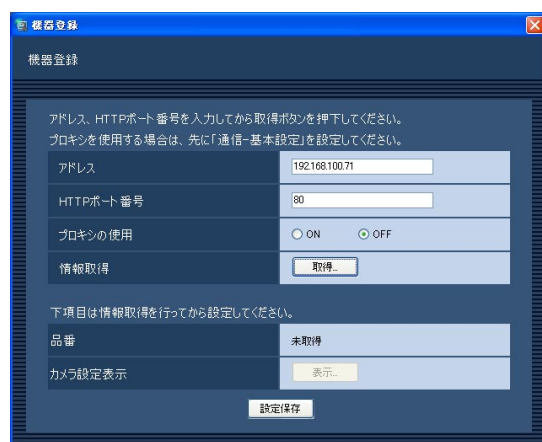
設定

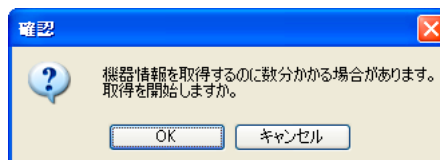
■ ［取得...］ボタン
「アドレス」「HTTPポート番号」「プロキシの使用」に入力した条件で機器情報を取得します。

■ 品番
機器情報の取得時にカメラから取得したカメラの品番を表示します。機器情報の取得前は「未取得」と表示されます。

■ ［表示...］ボタン
取得したカメラ設定の情報画面を表示します。機器情報の取得前はボタンをクリックできません。

■ ［設定保存］ボタン
設定された内容を保存します。

4 「アドレス」、「HTTPポート番号」、「プロキシの使用」を入力します。

5 ［取得...］ボタンをクリックします。

!! 重要 !!
- カメラ本体の設定を変更した場合は、機器情報を再度取得し直してください。

6 ［OK］ボタンをクリックします。

→機器情報取得中画面が表示されます。
機器情報取得を中止するには、機器情報取得中画面の［キャンセル］ボタンをクリックしてください。

7 画面表示を確認し、次の手順に進みます。

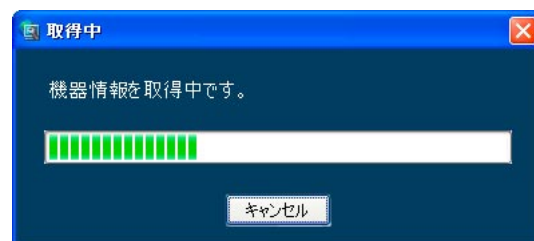
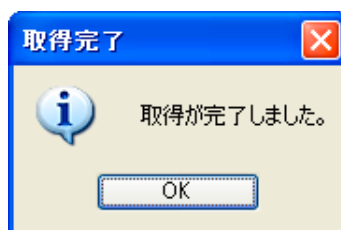
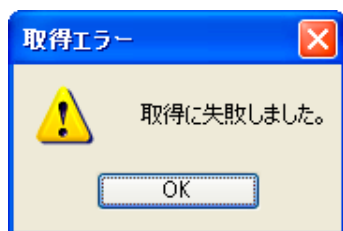
＜機器情報の取得が完了した場合＞
1. ［OK］ボタンをクリックします。

→取得完了画面が閉じ、機器登録画面に戻ります。

2. 手順8へ進みます。

＜機器情報の取得が失敗した場合＞

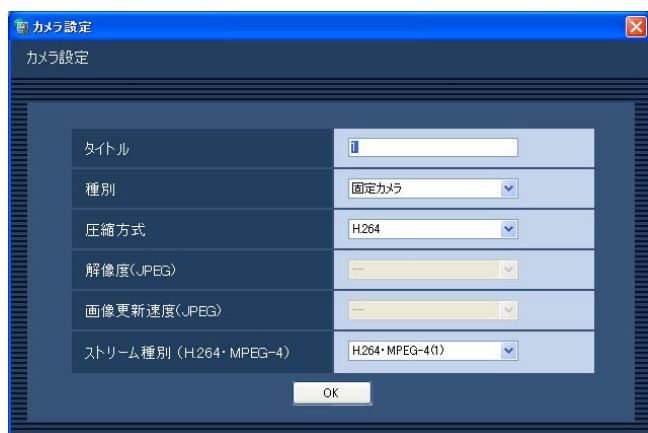
1. 画面に表示されている失敗内容を確認します。

✐メモ✐

- 入力した機器情報にミスがないかどうかを確認してください。入力が正しい場合、接続した機器、または機器のバージョンが対応していない可能性があります。詳しくは「対応機器一覧」（☞4ページ）をお読みください。

2. ［OK］ボタンをクリックします。
→取得エラー画面が閉じます。

3. 機器登録画面に戻り、設定内容を確認します。

4. 再度、機器情報を取得します。

8 ［表示...］ボタンをクリックします。
→カメラ設定画面が表示されます。

画面の説明は以下のとおりです。

■ タイトル

カメラ名を入力します。カメラ名は16文字以内で入力します。半角記号の ! $ % ’ < = > @ [¥] ^ _ ` { ¦ } ~ は使用できません。
お買い上げ時の設定：1

■ 種別

カメラの種別を選択します。

パン/チルト可能カメラ：カメラ操作はすべて可能となります。

固定カメラ：カメラ操作のうち、自動モード機能、パン/チルト操作、プリセットができません。

お買い上げ時の設定：
カメラの品番によって異なります。

✐メモ✐

- 種別を変更してもマップにすでに登録されているカメラアイコンは変更されません。

■ 圧縮方式

圧縮方式を選択します。H.264またはMPEG-4に対応したカメラでないと選択できません。

M-JPEG：ライブ画像をM-JPEGで見ることができます。

MPEG-4：ライブ画像をMPEG-4で見ることができます。

H.264：ライブ画像をH.264で見ることができます。

お買い上げ時の設定：
H.264に対応したカメラの場合は「H.264」。MPEG-4に対応したカメラの場合は「MPEG-4」。それ以外の場合は「M-JPEG」。

✐メモ✐

- お使いになるカメラの設定に合わせて設定内容を変更してください。

■ 解像度（JPEG）

解像度を選択します。
解像度は、「圧縮方式」を「M-JPEG」にしないと選択できません。

AUTO※1：1画および4画の場合、VGA（640×480）の画像を各画面数の表示サイズにあわせて見ることができます。9画および16画の場合、QVGA（320×240）の画像を各画面数の表示サイズにあわせて見ることができます。

QVGA：QVGA（320×240）の画像を各画面数の表示サイズに合わせて見ることができます。

VGA：VGA（640×480）の画像を各画面数の表示サイズに合わせて見ることができます。

SVGA：SVGA（800×600）の画像を各画面数の表示サイズに合わせて見ることができます。
SXVGA※2：SXVGA（1 280×960）の画像を各画面数の表示サイズに合わせて見ることができます。
QXGA：QXGA（2 048×1 536）の画像を各画面数の表示サイズに合わせて見ることができます。
お買い上げ時の設定：
「圧縮方式」が「M-JPEG」の場合は「AUTO」。それ以外の場合は「- -」。
※1　NP502またはNW502の撮像モードが3メガピクセルの場合は、「VGA」を選択した場合と同じ動作になります。
※2　NP100＊のスキャンモードがパーシャルの場合、画像サイズが960×720になります。

■ 画像更新速度（JPEG）
カメラから1秒間に受信する最大画像更新速度を以下から選択します。画像更新速度は「圧縮方式」を「M-JPEG」にしないと選択できません。
AUTO／0.1 ips／0.2 ips／0.3 ips／0.5 ips／1ips／2 ips／3 ips／5 ips／10 ips／15 ips／ALL
「AUTO」を選択すると、パフォーマンス画面で設定した最大画像更新速度に従い適切な値を設定します。
「ALL」を選択すると30ipsで設定します。
お買い上げ時の設定：
「圧縮方式」が「M-JPEG」の場合は「AUTO」。それ以外の場合は「- -」。

✐メモ✐
- 「0.1 ips」「0.2 ips」「0.3 ips」「0.5 ips」はカメラの品番によっては選択できません。
- ネットワークの環境、カメラ側の設定、パフォーマンス画面で設定した最大画像更新速度によっては、設定した画像更新速度より更新間隔が遅くなることがあります。
- パフォーマンス画面の設定については、「最大画像更新速度を設定する［パフォーマンス］」（☞23ページ）をお読みください。

■ ストリーム種別(H.264・MPEG-4)
ストリーム種別を選択します。
H.264に対応したカメラで、「圧縮方式」を「H.264」もしくは「MPEG-4」にしないと選択できません。
AUTO：1画の場合、H.264・MPEG-4（1）のストリームを使用します。4画、9画および16画の場合、H.264・MPEG-4（2）のストリームを使用します。
H.264・MPEG-4（1）：常にH.264・MPEG-4（1）のストリームを使用します。
H.264・MPEG-4（2）：常にH.264・MPEG-4（2）のストリームを使用します。
お買い上げ時の設定：H.264・MPEG-4（1）

✐メモ✐
- 「H.264・MPEG-4（1）」と「H.264・MPEG-4（2）」の各ストリームの設定については、お使いのカメラの取扱説明書をお読みください。
- 「AUTO」を選択する場合、「H.264・MPEG-4（1）」は1画面用の配信設定、「H.264・MPEG-4（2）」は多画面用の配信設定を行うと、ネットワークの使用帯域を軽減し、PCのCPU負荷を下げることができます。

■ ［OK］ボタン
カメラ設定画面を閉じます。

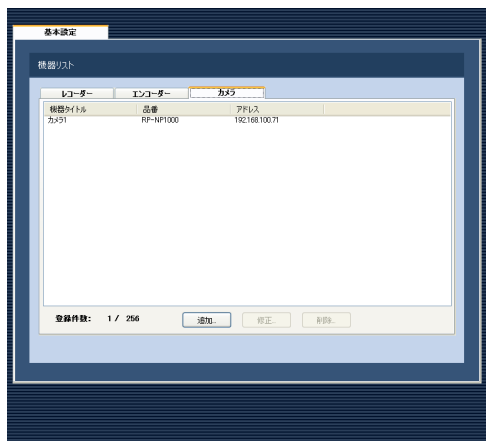
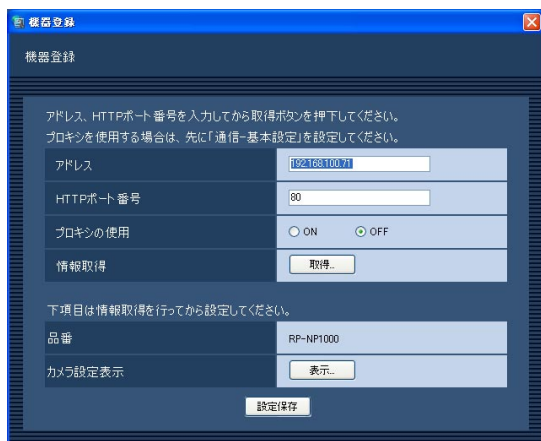
9 情報を入力し、［OK］ボタンをクリックします。
→カメラ設定画面が閉じます。

✐メモ✐
- ［OK］ボタンをクリックしてカメラ設定画面を閉じても、設定は保存されません。カメラ設定画面を閉じた後、機器登録画面で［設定保存］ボタンをクリックしてください。

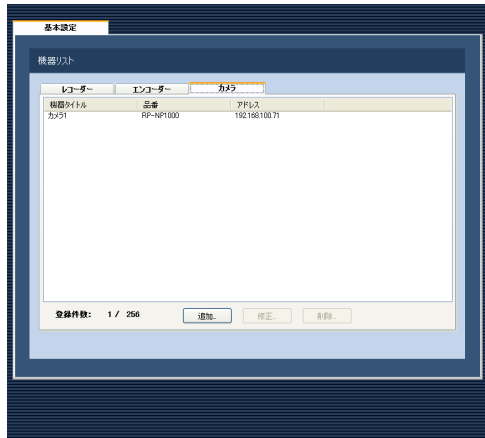
10 ［設定保存］ボタンをクリックします。
→設定が保存され、機器登録画面が閉じます。
機器リストにカメラが追加されます。

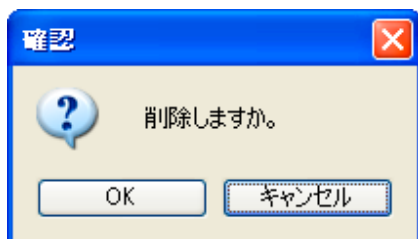
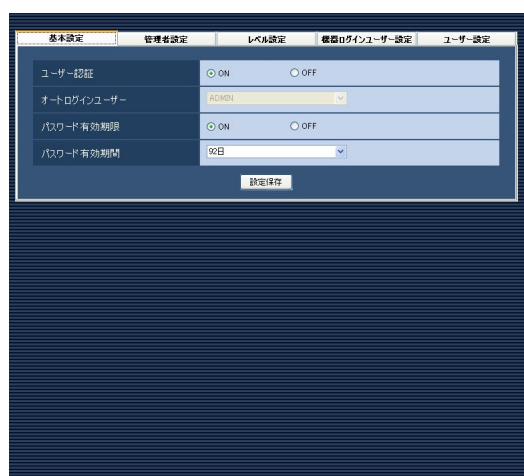
設定

カメラを修正する［基本設定］

1 カメラの機器リスト画面を表示します。
（☞37ページ）

2 機器リストから修正するカメラを選択し、［修正...］ボタンをクリックします。
→機器登録画面が表示されます。

3 情報を入力し、［設定保存］ボタンをクリックします。各項目については「カメラを追加する［基本設定］」（☞37ページ）をお読みください。
→設定が保存され、機器登録画面が閉じます。

カメラを削除する［基本設定］

1 カメラの機器リスト画面を表示します。
（☞37ページ）

2 機器リストから削除するカメラを選択します。

3 ［削除...］ボタンをクリックします。
→削除確認画面が表示されます。

4 ［OK］ボタンをクリックします。
→機器情報が削除されます。

ユーザー管理に関する設定

本ソフトウェアのログイン方法とユーザーの追加／修正／削除、各ユーザーのレベル設定などユーザー情報を設定します。

ユーザー認証・オートログインユーザー・パスワード有効期限を設定する［基本設定］

［ユーザー管理］ボタンをクリックし、［基本設定］タブをクリックして、基本設定画面を表示します。
ここでは、ログイン時、ユーザー認証を行うかオートログインするかの設定と、パスワードの有効期限を設定するか／しないかを設定します。有効期限を設定する場合、パスワードの有効期間を設定します。

■ ユーザー認証

ユーザー認証を行うかどうかを選択します。
　ON　：ユーザー認証を行います。
　OFF　：ユーザー認証を行いません。
お買い上げ時の設定：ON

■ オートログインユーザー

ユーザー認証をしない場合、どのユーザーで自動的にログインするか選択します。この設定は、「ユーザー認証」を［OFF］にしないと設定できません。
オートログインユーザーは、登録済みのユーザーと管理者から選択できます。オートログインユーザーが、削除された場合、オートログインユーザーが管理者に切り換わります。
お買い上げ時の設定：ADMIN

■ パスワード有効期限

パスワードの有効期限を設定するかどうかを選択します。有効期限を過ぎると、運用ソフトウェアにログインするたびにパスワード変更要求画面が表示されます。
　ON　：パスワードに有効期限を設定します。
　OFF　：パスワードに有効期限を設定しません。
お買い上げ時の設定：ON

■ パスワード有効期間

パスワードの有効期間を以下から選択します。この設定は「パスワード有効期限」を「ON」にしないと選択できません。
　31日／92日／184日
お買い上げ時の設定：92日

■ ［設定保存］ボタン

設定された内容を保存します。

設定

管理者情報を設定する［管理者設定］

［ユーザー管理］ボタンをクリックし、［管理者設定］タブをクリックして、管理者設定画面を表示します。
ここでは、管理者の名称、パスワード、スタートモニターを設定します。

■ 管理者名

管理者名を入力します。管理者名は半角英数字4文字以上14文字以内で入力します。
管理者名は重複できません。
お買い上げ時の設定：ADMIN

■ パスワード

パスワードを入力します。パスワードは半角英数字4文字以上8文字以内で入力します。
お買い上げ時の設定：12345

!! 重要 !!

- パスワードは、セキュリティを確保するため、定期的に変更してください。

■ レベル

ユーザーレベルを表示します。管理者は変更できません。「管理者」と表示されます。

■ 機器ログインユーザー

機器にログインするユーザー名を表示します。機器ログインユーザー設定画面でユーザー0に設定されてるユーザーになります。
管理者は変更できません。
お買い上げ時の設定：ADMIN

■ 表示可能カメラ

管理者は登録されているすべてのカメラが表示でき、「全カメラ表示」と表示されます。
管理者は変更できません。

■ スタートモニター

ログイン直後に操作モニターに表示するライブ画像の表示種別を選択します。
　グループ　　：グループで表示します。
　シーケンス　：シーケンスで表示します。
お買い上げ時の設定：グループ

＜「グループ」を選択した場合＞
グループ設定画面(☞52ページ)で登録したグループから選択できます。グループが未登録の場合、「- -」のみ表示されます。操作モニターでは黒画表示されます。
グループの登録方法については、「グループを設定する[グループ設定]」(☞52ページ)をお読みください。
お買い上げ時の設定：- -

＜「シーケンス」を選択した場合＞
シーケンス設定画面(☞56ページ)で登録したシーケンスから選択できます。シーケンスが未登録の場合、「- -」のみ表示されます。操作モニターでは黒画表示されます。
シーケンスの登録方法については、「シーケンスを設定する[シーケンス設定]」(☞56ページ)をお読みください。
お買い上げ時の設定：- -

✐メモ✐

- シーケンス間隔については、運用ソフトウェアで設定された値で動作します。

■ ［設定保存］ボタン

設定された内容を保存します。

ユーザーレベルを設定する［レベル設定］

［ユーザー管理］ボタンをクリックし、［レベル設定］タブをクリックして、レベル設定画面を表示します。
ここでは、ログインするユーザーのレベルを設定します。ユーザーレベルは、LV1～LV5に分類されます。
LV1は、ユーザーレベルを設定できるすべての操作が可能です。LV2～LV5については、管理者が任意でユーザーレベルを設定できます。

!!重要!!
- LV1のユーザーレベルは変更できません。

1 各レベルで操作できる機能を選択します。
→チェックボックスが空欄の機能は、ユーザーが操作できません。
各機能の内容については以下の「ユーザーレベルを設定できる機能について」をお読みください。

2 各レベル操作を入力し、［設定保存］ボタンをクリックします。
→設定を完了します。

ユーザーレベルを設定できる機能について

機能	説明
設定参照	設定ソフトウェアで設定した内容を確認できます。
アラーム復帰／エラー復帰	レコーダーのアラーム動作およびエラー動作を解除できます。
印刷／静止画保存	ライブ画像および再生画像を印刷、静止画保存できます。
ダウンロード	録画画像を手動でダウンロードできます。
マニュアル録画	マニュアル録画を開始／停止できます。
検索／再生／レコーダー操作	録画画像の検索／再生／レコーダー操作ができます。
プリセット登録	プリセット登録できます。
カメラ制御	カメラを制御できます。
音声（送話）	音声機能の送話を行うことができます。
アラームログ参照	アラームログを確認できます。
機器障害ログ参照	機器障害ログを確認できます。
ネットワーク障害ログ参照	ネットワーク障害ログを確認できます。

ユーザー管理に関する設定（つづき）

!!重要!!
- 「カメラ制御」が選択されていないと、「プリセット登録」は選択・設定できません。
- 「検索／再生／レコーダー操作」が選択されていないと、「マニュアル録画」は選択、設定できません。
- 「設定参照」は「LV1」のみ設定できます。

お買い上げ時の設定：

項目	LV1	LV2	LV3	LV4	LV5
設定参照	○	−	−	−	−
アラーム復帰／エラー復帰	○				
印刷／静止画保存	○	○			
ダウンロード	○	○			
マニュアル録画	○				
検索／再生／レコーダー操作	○	○	○		
プリセット登録	○	○	○	○	
カメラ制御	○	○	○	○	
音声（送話）	○	○	○	○	
アラームログ参照	○	○	○	○	
機器障害ログ参照	○	○	○	○	
ネットワーク障害ログ参照	○	○	○	○	

機器にログインするユーザーを設定する ［機器ログインユーザー設定］

［ユーザー管理］ボタンをクリックし、［機器ログインユーザー設定］タブをクリックして、機器ログインユーザー設定画面を表示します。
ここでは、機器にログインするときのユーザー名、パスワードを設定します。
運用ソフトウェアを起動して機器にログインするときに、ここで設定したユーザー名、パスワードでログインします。

■ **ユーザー名**
ユーザー名を入力します。ユーザー名は半角英数字4文字以上14文字以内で入力します。
お買い上げ時の設定：ADMIN（ユーザー0）

■ **パスワード**
パスワードを入力します。パスワードは「＊」で表示されます。パスワードは半角英数字4文字以上8文字以内で入力します。
お買い上げ時の設定：12345（ユーザー0）

!!重要!!
- 機器に登録されているユーザー名、パスワードを登録してください。本ソフトウェアから接続するすべての機器に同一のユーザー名、パスワードを登録する必要があります。
- ［設定保存］ボタンをクリックしただけでは、ユーザー0に設定した内容は本ソフトウェアへ反映されません。ユーザー0の設定内容を反映したいときは、必ず、本ソフトウェアを再起動してください。

メモ
- ユーザー0は管理者用のログインユーザーです。ユーザー0を削除することはできません。
- ユーザー0でHD300にログインする場合、設定されているユーザー名ではなく、「ADMIN」にてログインします。パスワードは設定されている値を使用します。
- レコーダーから録画データをダウンロードする場合、ユーザー0のユーザー名とパスワードを使用してFTP通信を行います。そのため、ユーザー0のユーザー名とパスワードには、レコーダーの管理者のユーザー名とパスワードを設定してください。
- ND400の場合、FTP通信を行うことができないユーザー名があります。ユーザー0のユーザー名に、以下を使用しないでください。
  administrator、guest、operator、users、nogroup、shutdown、shadow、hdusers

■ **［設定保存］ボタン**
設定された内容を保存します。

設定

登録ユーザーを管理する［ユーザー設定］

本ソフトウェアを使用するユーザーを追加／修正／削除できます。ユーザーは32人まで登録できます。

ユーザーを追加する

1 ［ユーザー管理］ボタンをクリックします。

2 ［ユーザー設定］タブをクリックします。
→ユーザー設定画面が表示されます。

画面の説明は以下のとおりです。

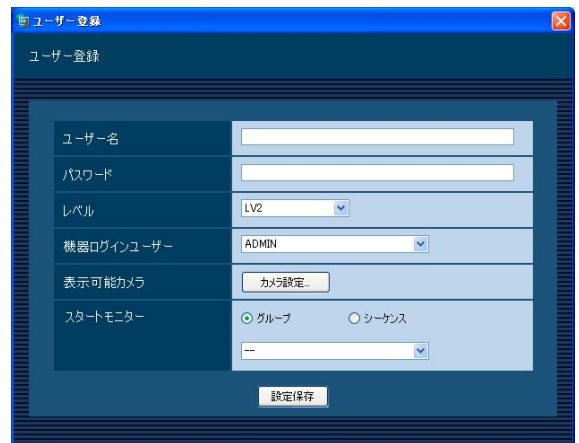
■ 登録ユーザー
登録されたユーザーを一覧表示します。

■ 登録件数
登録されたユーザーの人数を表示します。

■ ［追加...］ボタン
ユーザー登録画面を表示します。

■ ［修正...］ボタン
登録ユーザーリストで選択されたユーザーのユーザー登録画面を表示します。

■ ［削除...］ボタン
登録ユーザーリストで選択されたユーザーを削除します。

3 ［追加...］ボタンをクリックします。
→ユーザー登録画面が表示されます。

メモ
- すでに32人登録済みの場合は、［追加...］ボタンをクリックできません。

画面の説明は以下のとおりです。

■ ユーザー名
ユーザー名を入力します。ユーザー名は半角英数字4文字以上14文字以内で入力します。
ユーザー名は重複できません。

■ パスワード
パスワードを入力します。パスワードは半角英数字4文字以上8文字以内で入力します。

メモ
- パスワードはセキュリティを確保するために定期的に変更してください。

設定

■ レベル
ユーザーレベルを以下から選択します。
　LV1／LV2／LV3／LV4／LV5
お買い上げ時の設定：LV2

■ 機器ログインユーザー
機器ログインユーザーを選択します。機器ログインユーザー設定画面（☞47ページ）で登録したユーザーから選択できます。

■ 表示可能カメラ
［カメラ設定...］ボタンをクリックすると、表示可能カメラ設定画面を表示します。表示可能カメラの設定方法については、「表示可能なカメラを設定する」（☞50ページ）をお読みください。

■ スタートモニター
ログイン直後に操作モニターで表示するライブ画像の表示種別を選択します。
　グループ　　：グループで表示します。
　シーケンス　：シーケンスで表示します。
お買い上げ時の設定：グループ

＜「グループ」を選択した場合＞
グループ設定画面(☞52ページ)で登録したグループから選択できます。グループが未登録の場合、「--」のみ表示されます。操作モニターでは黒画表示されます。グループの登録方法については、「グループを設定する[グループ設定]」(☞52ページ)をお読みください。
お買い上げ時の設定：- -

＜「シーケンス」を選択した場合＞
シーケンス設定画面(☞56ページ)で登録したシーケンスから選択できます。シーケンスが未登録の場合、「--」のみ表示されます。操作モニターでは黒画表示されます。シーケンスの登録方法については、「シーケンスを設定する[シーケンス設定]」(☞56ページ)をお読みください。
お買い上げ時の設定：- -

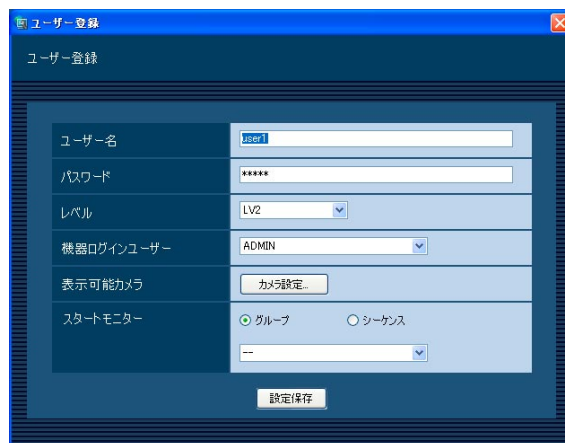
メモ
● シーケンス間隔については、運用ソフトウェアで設定された値で動作します。

■ ［設定保存］ボタン
4 設定された内容を保存します。

情報を入力し、［設定保存］ボタンをクリックします。
→設定が保存され、ユーザー登録画面が閉じます。

ユーザーを修正する

1 ユーザー設定画面を表示します。
(☞48ページ)

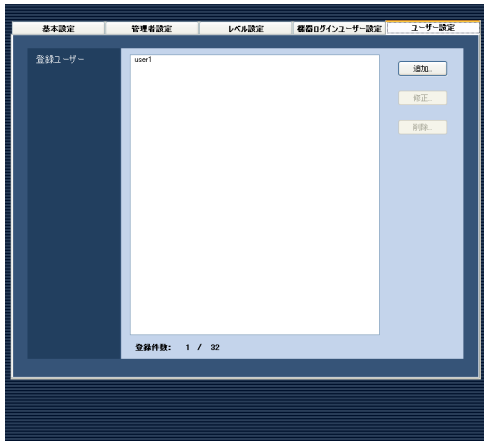
2 登録ユーザーリストから修正するユーザーを選択し、［修正...］ボタンをクリックします。
→ユーザー登録画面が表示されます。

3 情報を入力し、［設定保存］ボタンをクリックします。各項目については「ユーザーを追加する」(☞48ページ）をお読みください。
→設定が保存され、ユーザー登録画面が閉じます。

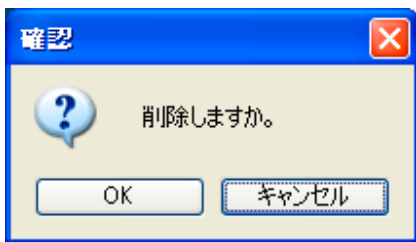
設定

ユーザーを削除する

1 ユーザー設定画面を表示します。
(☞48ページ)

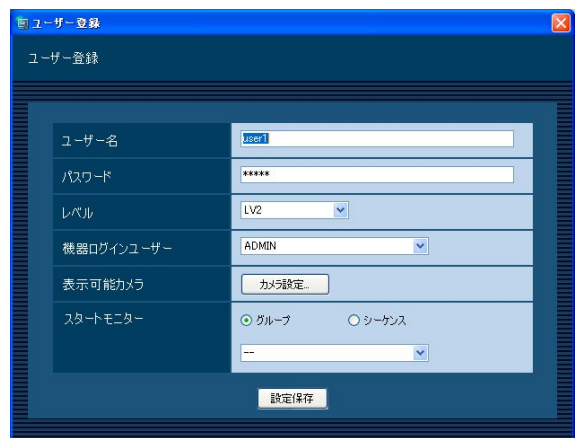
2 登録ユーザーリストから削除するユーザーを選択します。

3 ［削除...］ボタンをクリックします。
→削除確認画面が表示されます。

4 ［OK］ボタンをクリックします。
→ユーザー情報が削除されます。

!!重要!!
- オートログインユーザーとして選択されているユーザーのユーザー情報を削除すると、自動的にオートログインユーザーを管理者へ変更します。

表示可能なカメラを設定する

ユーザーごとに表示可能なカメラを設定します。

1 ユーザー設定画面を表示します。
(☞48ページ)

2 ユーザーを追加する場合は［追加...］ボタン、ユーザーを修正する場合は［修正...］ボタンをクリックします。
→ユーザー登録画面が表示されます。

3 ［カメラ設定...］ボタンをクリックします。
→表示可能カメラ設定画面が表示されます。

画面の説明は以下のとおりです。

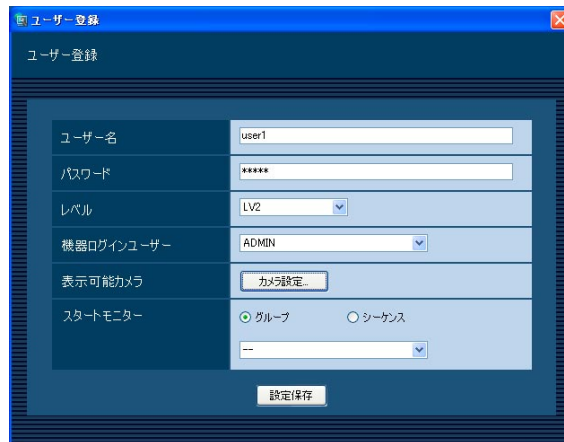
■ カメラ選択
登録されている機器の一覧をツリーで表示します。ユーザーが運用ソフトウェアにログインした場合に表示する機器を選択します。チェックボックスが空欄の場合は表示されません。
お買い上げ時の設定は、すべての機器が選択されています。

■ ［全選択］ボタン
カメラ選択リストの機器のすべてを選択します。

■ ［OK］ボタン
表示可能カメラ設定画面を閉じます。

4 情報を入力し、［OK］ボタンをクリックします。
→表示可能カメラ設定画面を閉じ、ユーザー登録画面に戻ります。

✐メモ✐
- [OK]ボタンをクリックして表示可能カメラ設定画面を閉じても、設定は保存されません。表示可能カメラ設定画面を閉じた後、ユーザー登録画面で[設定保存]ボタンをクリックしてください。

5 ユーザー登録画面の［設定保存］ボタンをクリックします。

→設定が保存され、ユーザー登録画面が閉じます。

!! 重要 !!
- カメラ直接受信時は、レコーダーのカメラパーティショニング設定でライブ画像が表示できない状態であっても、本ソフトウェアで表示可能な設定になっていれば、ライブ画像を表示します。

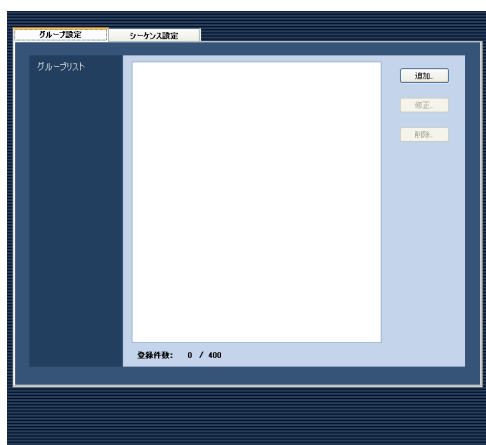
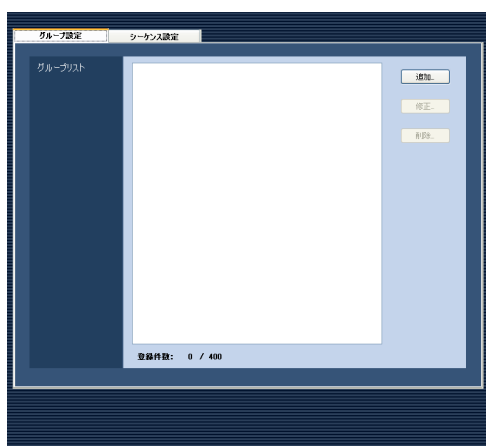
カメラに関する設定

カメラのグループとシーケンス動作に関する設定を行います。

グループを設定する［グループ設定］

表示できる画面数とよく使用するカメラを組み合わせて、１つのグループとして登録できます。1つのグループには最大16台のカメラを登録できます。グループは400件まで登録できます。

グループを追加する

1 ［カメラ］ボタンをクリックします。

2 ［グループ設定］タブをクリックします。
→グループ設定画面が表示されます。

画面の説明は以下のとおりです。

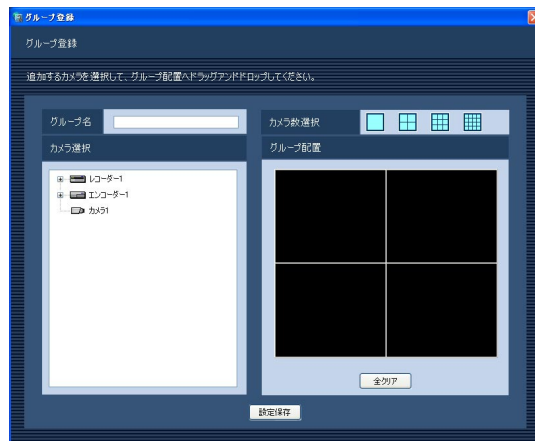
■ グループリスト
登録されたグループを一覧表示します。

■ ［追加...］ボタン
グループ登録画面を表示します。

■ ［修正...］ボタン
グループリストで選択されたグループのグループ登録画面を表示します。

■ ［削除...］ボタン
グループリストで選択されたグループを削除します。

■ 登録件数
登録されたグループの件数を表示します。

3 ［追加...］ボタンをクリックします。
→グループ登録画面が表示されます。

✐メモ✐

- すでに400件登録済みの場合は、［追加...］ボタンをクリックできません。

画面の説明は以下のとおりです。

■ グループ名
グループ名を入力します。グループ名は16文字以内で入力します。半角記号の！＄％’＜＝＞＠［￥］＾＿｀｛¦｝˜は使用できません。グループ名は重複できません。

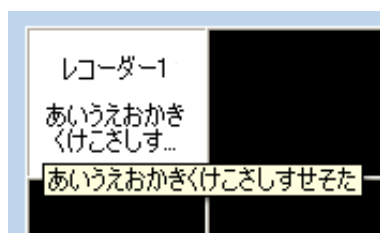
■ カメラ選択
登録されている機器の一覧をツリーで表示します。

■ カメラ数選択
「グループ配置」に表示するカメラ数をアイコンから選択します。
カメラ数選択に表示されるアイコンは以下のとおりです。

アイコン表示	内容
	1画表示します。
	4画表示します。
	9画表示します。
	16画表示します。

お買い上げ時の設定：4画

■ グループ配置
グループに登録するカメラを表示します。「カメラ選択」からレコーダーアイコン、エンコーダーアイコン、カメラアイコンのいずれかをドラッグ＆ドロップしてカメラを配置します。カメラが登録されると、機器名とカメラ名が表示されます。

✐メモ✐
- レコーダーまたはエンコーダーをドラッグ＆ドロップした場合、1CHから順に表示します。
- グループ配置エリアに機器名とカメラ名の文字が表示しきれない場合、マウスカーソルを「グループ配置」のエリアに合わせると、自動的にチップヘルプで情報を表示します。
  例）あいうえおかきくけこさしすせそた⇒
  　　あいうえおかきくけこさしす...

- レコーダーに登録されていないカメラの場合、グループ配置エリアの機器名には「--」が表示されます。
- グループ配置エリアを右クリックすると「クリア」メニューが表示されます。「クリア」メニューを選び、そのエリアの設定をクリアすることができます。

■ ［全クリア］ボタン
「グループ配置」の設定をクリアします。

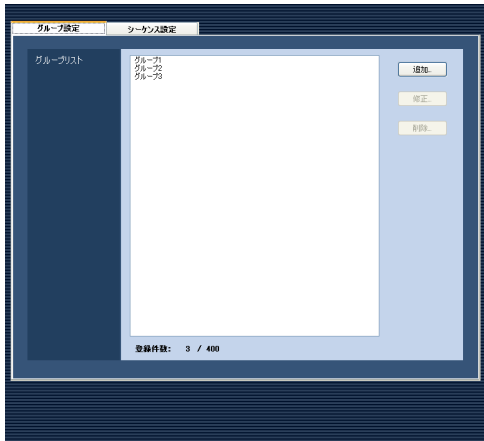
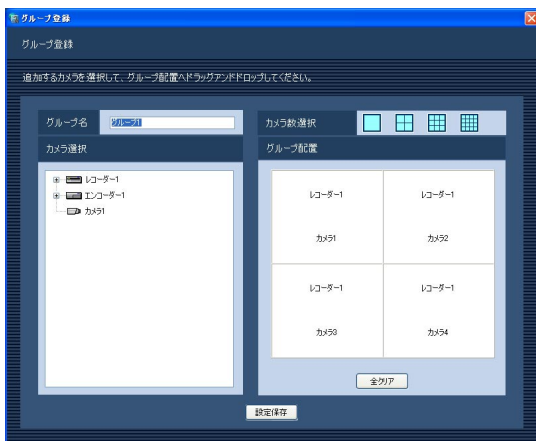
■ ［設定保存］ボタン
設定された内容を保存します。

4 情報を入力し、［設定保存］ボタンをクリックします。
→設定が保存され、グループ登録画面が閉じます。グループリストにグループが追加されます。

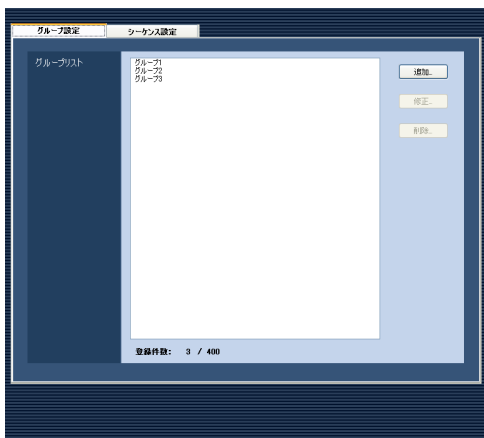
!!重要!!
- 1つのグループに同一カメラを重複して設定できません。

設定

グループを修正する

1 グループ設定画面を表示します。
（☞52ページ）

2 グループリストから修正するグループを選択し、［修正...］ボタンをクリックします。
→グループ登録画面が表示されます。

3 情報を入力し、［設定保存］ボタンをクリックします。各項目については「グループを追加する」（☞52ページ）をお読みください。
→設定が保存され、グループ登録画面が閉じます。

グループを削除する

1 グループ設定画面を表示します。
（☞52ページ）

2 グループリストから削除するグループを選択します。

3 ［削除...］ボタンをクリックします。
→削除確認画面が表示されます。

4 ［OK］ボタンをクリックします。
→グループ情報が削除されます。

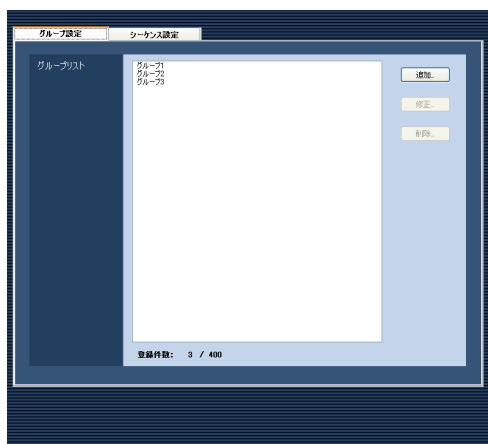
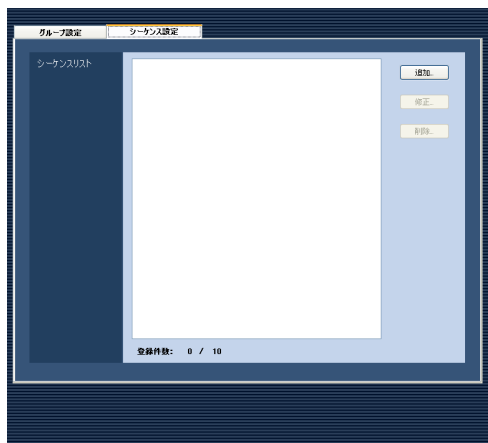
✐**メモ**✐

- スタートモニターとして設定されているグループを削除した場合、管理者設定画面、ユーザー登録画面、ライブモニター画面のスタートモニターには、「- -」と表示されます。運用ソフトウェア画面では、黒画表示されます。

シーケンスを設定する［シーケンス設定］

グループを1つのシーケンスに登録できます。1つのシーケンスには最大64グループを登録できます。シーケンスは10件まで登録できます。

シーケンスを追加する

1 ［カメラ］ボタンをクリックします。

2 ［シーケンス設定］タブをクリックします。
→シーケンス設定画面が表示されます。

画面の説明は以下のとおりです。

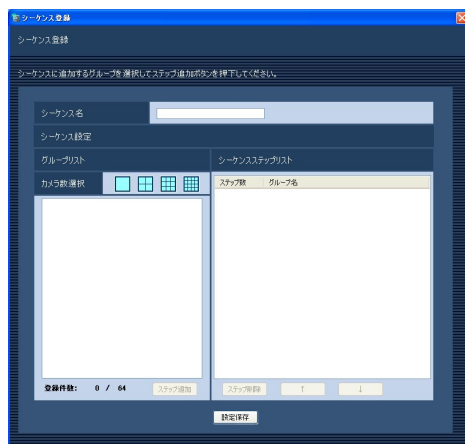
■ シーケンスリスト
登録されたシーケンスを一覧表示します。

■ ［追加...］ボタン
シーケンス登録画面を表示します。

■ ［修正...］ボタン
シーケンスリストで選択されたシーケンスのシーケンス登録画面を表示します。

■ ［削除...］ボタン
シーケンスリストで選択されたシーケンスを削除します。

■ 登録件数
登録されたシーケンスの件数を表示します。

3 ［追加...］ボタンをクリックします。
→シーケンス登録画面が表示されます。

✐メモ✐
- すでに10件登録済みの場合は、［追加...］ボタンをクリックできません。

画面の説明は以下のとおりです。

■ シーケンス名
シーケンス名を入力します。シーケンス名は16文字以内で入力します。半角記号の！＄％’＜＝＞＠［￥］＾＿｀｛｜｝~は使用できません。
シーケンス名は重複できません。

■ グループリスト
シーケンスに登録できるグループの一覧を表示します。

設定

■ カメラ数選択
グループリストに表示するグループのカメラ数を選択します。
1画　：1画のグループを表示します。
4画　：4画のグループを表示します。
9画　：9画のグループを表示します。
16画：16画のグループを表示します。
お買い上げ時の設定：1画

■ 登録件数
「シーケンスステップリスト」に登録されているグループの件数を表示します。

■ ［ステップ追加］ボタン
「グループリスト」で選択したグループを「シーケンスステップリスト」に追加します。

✐メモ✐
- 同一シーケンスで同一グループを重複設定できます。
- すでに64件登録済みの場合、［ステップ追加］ボタンをクリックできません。

■ シーケンスステップリスト
登録されているグループ一覧を表示します。

■ ［ステップ削除］ボタン
「シーケンスステップリスト」で選択したグループをシーケンスリストから削除します。

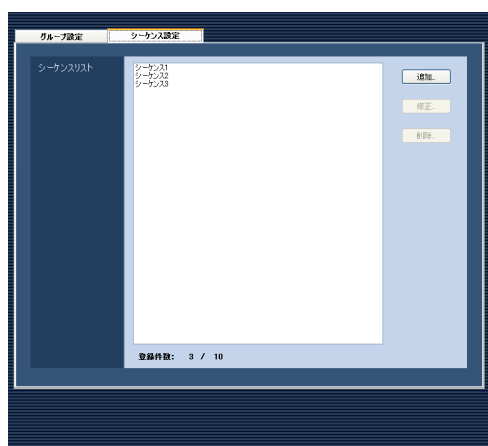
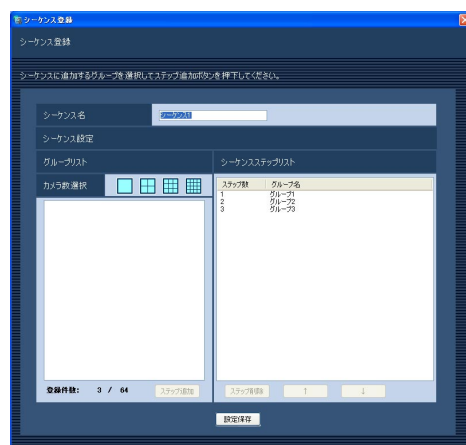
■ ［↑］ボタン
「シーケンスステップリスト」で選択したグループのステップを1つ上に移動します。

■ ［↓］ボタン
「シーケンスステップリスト」で選択したグループのステップを1つ下に移動します。

■ ［設定保存］ボタン
設定された内容を保存します。

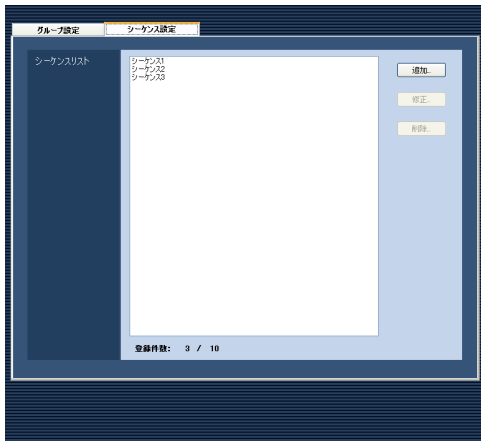
4 情報を入力し、［設定保存］ボタンをクリックします。
→設定が保存され、シーケンス登録画面が閉じます。シーケンスリストにシーケンスが追加されます。

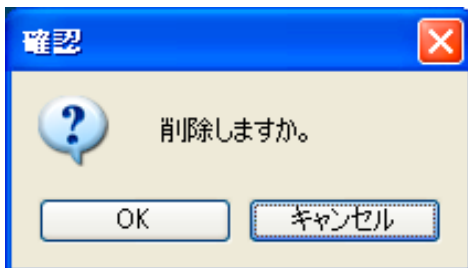
シーケンスを修正する

1 シーケンス設定画面を表示します。
（☞56ページ）

2 シーケンスリストから修正するシーケンスを選択し、［修正...］ボタンをクリックします。
→シーケンス登録画面が表示されます。

3 情報を入力し、［設定保存］ボタンをクリックします。各項目については「シーケンスを追加する」（☞56ページ）をお読みください。
→設定が保存され、シーケンス登録画面が閉じます。

設定

シーケンスを削除する

1 シーケンス設定画面を表示します。
(☞56ページ)

2 シーケンスリストから削除するシーケンスを選択します。

3 [削除...］ボタンをクリックします。
→削除確認画面が表示されます。

4 [OK］ボタンをクリックします。
→シーケンス情報が削除されます。

✐メモ✐

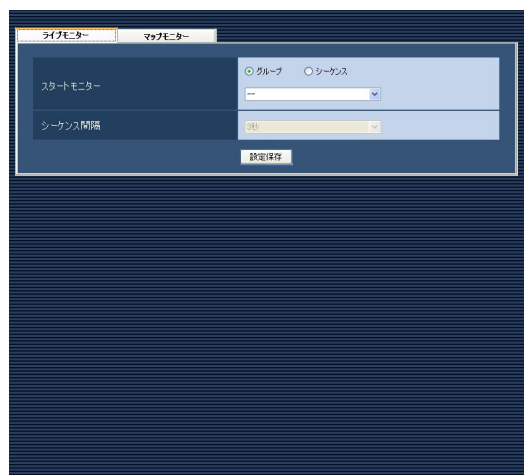
- スタートモニターとして設定されているシーケンスを削除した場合、管理者設定画面、ユーザー登録画面、ライブモニター画面のスタートモニターには、「- -」と表示されます。運用ソフトウェア画面では、黒画表示されます。

設定

モニターに関する設定

ライブモニターやマップモニターを設定します。

ライブモニターを設定する［ライブモニター］

［モニター］ボタンをクリックし、［ライブモニター］タブをクリックして、ライブモニター画面を表示します。

■ スタートモニター

ログイン直後にライブモニターに表示するライブ画像の表示種別を選択します。
　グループ　　：グループで表示します。
　シーケンス　：シーケンスで表示します。
お買い上げ時の設定：グループ

<「グループ」を選択した場合>
グループ設定画面(☞52ページ)で登録したグループから選択できます。グループが未登録の場合、「- -」のみ表示されます。ライブモニターでは黒画表示されます。
グループの登録方法については、「グループを設定する［グループ設定］」(☞52ページ)をお読みください。
お買い上げ時の設定：- -

<「シーケンス」を選択した場合>
シーケンス設定画面(☞56ページ)で登録したシーケンスから選択できます。シーケンスが未登録の場合、「- -」のみ表示されます。ライブモニターでは、黒画表示されます。
シーケンスの登録方法については、「シーケンスを設定する［シーケンス設定］」(☞56ページ)をお読みください。
お買い上げ時の設定：- -

■ シーケンス間隔

シーケンス間隔を以下から選択します。本設定は「スタートモニター」を「シーケンス」にしないと選択できません。
　3秒／5秒／10秒／15秒／20秒／25秒／30秒／35秒／40秒／45秒／50秒／55秒／1分
お買い上げ時の設定：3秒

■ ［設定保存］ボタン

設定された内容を保存します。

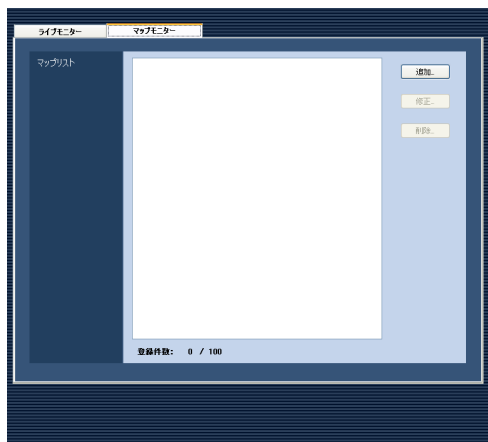
設定

マップを設定する［マップモニター］

マップモニターを使用する場合は、使用するマップを登録する必要があります。マップは100件まで登録できます。ここではマップの追加／修正／削除について説明します。

マップを追加する

1 ［モニター］ボタンをクリックします。

2 ［マップモニター］タブをクリックします。
→マップモニター画面が表示されます。

画面の説明は以下のとおりです。

■ **マップリスト**
登録されたマップを一覧表示します。

■ **登録件数**
登録されたマップの件数を表示します。

■ **［追加...］ボタン**
マップ登録画面を表示します。

■ **［修正...］ボタン**
マップリストで選択されたマップのマップ登録画面を表示します。

■ **［削除...］ボタン**
マップリストで選択されたマップを削除します。

3 ［追加...］ボタンをクリックします。
→マップ登録画面が表示されます。

メモ
- すでに100件登録済みの場合は、［追加...］ボタンをクリックできません。

画面の説明は以下のとおりです。

■ **マップ名**
マップ名を入力します。マップ名は16文字以内で入力します。半角記号の！$ %’ < = > @ [¥] ^ _ ` { ¦ } ~ は使用できません。マップ名は重複できません。

■ **マップ選択**
［選択...］ボタンをクリックすると、マップ選択画面が表示されます。マップに登録する画像ファイルを選択します。

■ **カメラ選択**
登録されている機器の一覧をツリーで表示します。

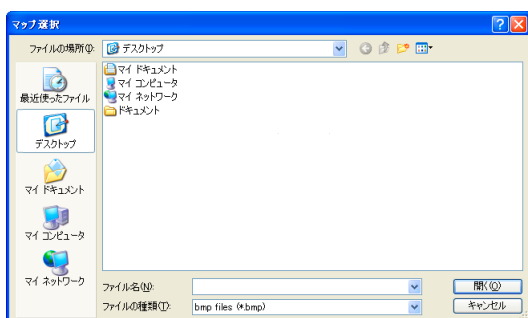
■ 登録件数（カメラ選択）
マップ上に登録されたカメラの件数を表示します。カメラは64件まで登録することができます。

■ マップ選択
登録されているマップの一覧を表示します。

■ 登録件数（マップ選択）
マップ上に登録されたマップの件数を表示します。
マップは20件まで登録することができます。

■ マップ表示エリア
画像ファイルを表示します。

■ ［設定保存］ボタン
設定された内容を保存します。

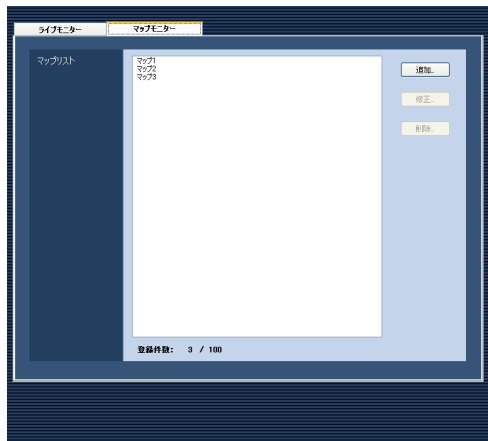
4 ［選択...］ボタンをクリックします。
→マップ選択画面が表示されます。

5 表示したい画像ファイルを選択し、［開く(O)］ボタンをクリックします。
→マップ表示エリアに選択した画像ファイルが表示されます。

6 「カメラ選択」で配置したいカメラをマップ表示エリアへドラッグ＆ドロップしてカメラアイコンを配置します。
「マップ選択」で配置したいマップをマップ表示エリアへドラッグ＆ドロップしてマップアイコンを配置します。

メモ
- カメラアイコンを右クリックすると、ポップアップメニューが表示され、カメラを調整できます。詳しくは、「カメラアイコンの向きを調整する」（☞63ページ）をお読みください。
- すでにカメラアイコンが64件登録済みの場合、カメラアイコンをドラッグ＆ドロップできません。
- すでにマップアイコンが20件登録済みの場合、マップアイコンをドラッグ＆ドロップできません。

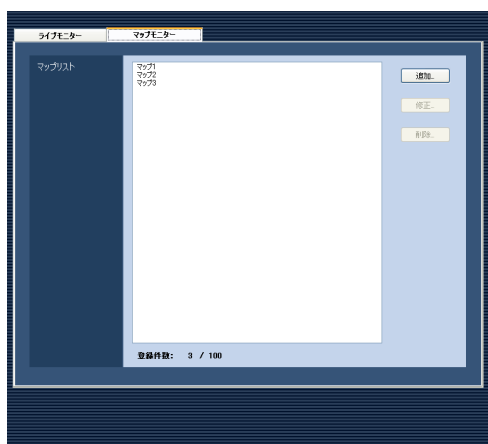
7 情報を入力し、［設定保存］ボタンをクリックします。
→設定が保存され、マップ登録画面が閉じます。
「マップリスト」にマップが追加されます。

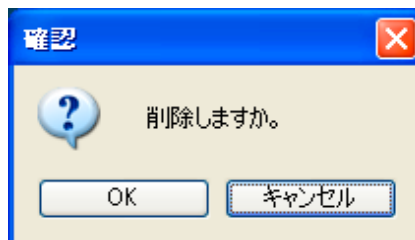
マップを修正する

1 マップモニター画面を表示します。（☞60ページ）

2 マップリストから修正するマップを選択し、［修正...］ボタンをクリックします。
→マップ登録画面が表示されます。

3 情報を入力し、［設定保存］ボタンをクリックします。各項目については「マップを追加する」（☞60ページ）をお読みください。
→設定が保存され、マップ登録画面が閉じます。

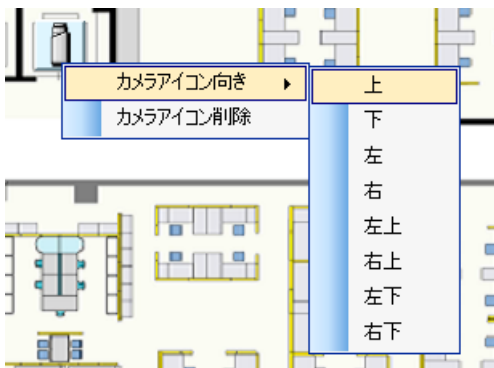
マップを削除する

1 マップモニター画面を表示します。（☞60ページ）

2 マップリストから削除するマップを選択します。

3 ［削除...］ボタンをクリックします。
→削除確認画面が表示されます。

4 ［OK］ボタンをクリックします。
→マップ情報が削除されます。

!!重要!!
- 削除対象のマップが別のマップにマップアイコンとして登録されている状態で、［OK］ボタンをクリックした場合、マップアイコンを削除します。

カメラアイコンの向きを調整する

マップに登録されたカメラアイコンの向きを調整したり、削除できます。
登録されているカメラアイコンを右クリックすると、ポップアップメニューが表示されます。選択されたメニューより、カメラアイコンの向きを調整します。

■ カメラアイコン向き

選択されたカメラアイコンの向きを変更します。

上　：選択されたカメラアイコンの向きを上に変更します。
下　：選択されたカメラアイコンの向きを下に変更します。
左　：選択されたカメラアイコンの向きを左に変更します。
右　：選択されたカメラアイコンの向きを右に変更します。
左上：選択されたカメラアイコンの向きを左上に変更します。
右上：選択されたカメラアイコンの向きを右上に変更します。
左下：選択されたカメラアイコンの向きを左下に変更します。
右下：選択されたカメラアイコンの向きを右下に変更します。

✐メモ✐

- 選択されたカメラアイコンがパン／チルト操作が可能なカメラ（PTZカメラ）の場合、カメラアイコンの向きは変更できません。

■ カメラアイコン削除

選択されたカメラアイコンを削除します。

設定

イベント動作に関する設定

アラーム発生、または障害発生時の動作について設定します。監視中の異常については、以下の「アラーム発生時の動作を設定する［アラーム設定］」をお読みください。レコーダー／エンコーダー／カメラなど接続機器の異常および、ネットワークの異常については「障害発生時の動作を設定する［障害設定］」（☞66ページ）をお読みください。

アラーム発生時の動作を設定する［アラーム設定］

アラーム発生時の動作には、メッセージを表示する、アラーム発生音を鳴らす、アラームが発生したカメラのライブ画像へ表示画面を自動的に切り換える、の3つがあります。

✐メモ✐

- 機器からのアラーム通知を受信する場合は、「独自アラーム設定」を設定してください。詳しくは「通信に関する設定」（☞67ページ）および、お使いの機器の取扱説明書をお読みください。

設定

アラーム設定は、［イベント動作］ボタンをクリックし、［アラーム設定］タブをクリックして、アラーム設定画面を表示して行います。

■ アラーム通知

アラーム発生時、画面にアラームメッセージを表示するかどうかを選択します。

ON　：メッセージを表示します。
OFF　：メッセージを表示しません。

お買い上げ時の設定：ON

■ ブザー音

アラーム発生時、アラーム発生音を鳴らすかどうかを選択します。

OFF　：アラーム発生音を鳴らしません。
1回　：アラーム発生音を1回鳴らします。
連続　：アラーム発生音を連続で鳴らします。

お買い上げ時の設定：1回

✐メモ✐

- ブザー音の出力時間は設定できません。

■ 自動ライブ切り換え

アラーム発生時、ライブモニターをアラームが発生したカメラのライブ画像に切り換えるかどうかを選択します。

ON　：自動ライブ切り換えします。
OFF　：自動ライブ切り換えしません。

お買い上げ時の設定：ON

✐メモ✐

- 「自動ライブ切り換え」を「ON」に設定する場合は、「ライブモニター最大画面数」を「- -」以外に設定してください。設定については「システムに関する設定」（☞21ページ）をお読みください。

■ 同時表示数

アラーム発生時、ライブモニターをアラームが発生したカメラのライブ画像に切り換えたときに表示する画面数を選択します。この設定は「自動ライブ切り換え」を「ON」にしないと選択できません。

1画　：1画を表示します。
4画　：4分割表示します。
9画　：9分割表示します。
16画：16分割表示します。

お買い上げ時の設定：4画

■ 自動復帰時間

アラーム発生時、ライブモニターをアラームが発生したカメラのライブ画像に切り換えた後、元のカメラ画像に復帰するまでの時間を以下から選択します。この設定は「自動ライブ切り換え」を「ON」にしないと選択できません。

OFF／10秒／20秒／30秒／1分／5分

お買い上げ時の設定：20秒

✐メモ✐

- 「OFF」に設定した場合、自動復帰しません。復帰方法について詳しくは、「DG-ASM100シリーズ取扱説明書　運用編」をお読みください。

■ 自動マップ切り換え

アラーム発生時、アラームが発生したカメラが登録されているマップに切り換えるかどうかを選択します。

ON　：自動マップ切り換えします。
OFF：自動マップ切り換えしません。

お買い上げ時の設定：OFF

✐メモ✐

- 「ON」に設定した場合でも、アラームが連続して（1秒以内）発生した場合はマップ切り換えを行いません。

■ ［設定保存］ボタン

設定された内容を保存します。

障害発生時の動作を設定する［障害設定］

機器障害およびネットワーク障害発生時の動作について設定します。障害発生時の動作として、メッセージを表示する、障害発生音を鳴らす、の2つがあります。

✐メモ✐
- 機器障害通知を受信する場合は、「独自アラーム設定」を設定してください。詳しくは「通信に関する設定」（☞67ページ）および、お使いの機器の取扱説明書をお読みください。

障害設定は、［イベント動作］ボタンをクリックし、［障害設定］タブをクリックして、障害設定画面を表示して行います。

■ 障害表示

障害発生時、障害メッセージを表示するかどうかを選択します。

ON　：メッセージを表示します。
OFF　：メッセージを表示しません。

お買い上げ時の設定：ON

■ ブザー音

障害発生時、障害発生音を鳴らすかどうかを選択します。

OFF　：障害発生音を鳴らしません。
1回　：障害発生音を1回鳴らします。
連続　：障害発生音を連続で鳴らします。

お買い上げ時の設定：1回

✐メモ✐
- ブザー音の出力時間は設定できません。

■ ［設定保存］ボタン

設定された内容を保存します。

通信に関する設定

本ソフトウェアの通信関連を設定します。

通信環境を設定する［基本設定］

［通信］ボタンをクリックし、［基本設定］タブをクリックして、基本設定画面を表示します。
ここでは、プロキシやFTP通信関連を設定します。

■ **プロキシのアドレス**
プロキシのアドレスを入力します。半角英数字255文字以内で入力します。

■ **プロキシのポート番号**
プロキシのポート番号を入力します。入力可能な範囲は1〜65535です。

■ **FTPモード**
FTPモードをアクティブ／パッシブのどちらかに設定します。
お買い上げ時の設定：アクティブ

■ **［設定保存］ボタン**
設定された内容を保存します。

メモ
- 機器登録画面の「プロキシの使用」項目を「ON」にしても、本画面で「プロキシのアドレス」と「プロキシのポート番号」を入力しないと通信できません。
- プロキシ機能を利用する場合は、HTTPプロキシサーバーをご使用ください。なお、ダウンロード機能はレコーダーのFTP機能を使用していますが、HTTPプロキシサーバー経由で使用できます。

設定

アラーム通知に対する受信ポート番号を設定する［独自アラーム設定］

［通信］ボタンをクリックして、［独自アラーム設定］タブをクリックして、独自アラーム設定画面を表示します。
ここでは、アラーム、または障害発生を受信するポート番号を設定します。

■ **受信**
発生したアラームや障害情報を受信するかどうかを選択します。
　ON　：受信します。
　OFF　：受信しません。
お買い上げ時の設定：ON

■ **受信ポート番号**
独自アラーム受信時に使用するポート番号を入力します。入力可能な範囲は1〜65535です。
お買い上げ時の設定：1818

!!重要!!
- Windows XP でファイアウォールを有効にしている場合、「受信ポート番号」で設定したポートを使用できるように設定する必要があります。「ファイアウォールの例外設定」（☞89ページ）の手順に従ってファイアウォールの例外設定を行ってください。

■ **［設定保存］ボタン**
設定された内容を保存します。

コントローラーに関する設定

システムコントローラーからカメラ選択、グループ選択、シーケンス選択をする場合、あらかじめ、使用したいカメラ、グループ、シーケンスに対して、カメラ番号、グループ番号、シーケンス番号の設定が必要になります。

カメラ番号を設定する［カメラ番号設定］

あらかじめ機器登録されているカメラ名に対してカメラ番号を設定します。

カメラ番号を手動設定する

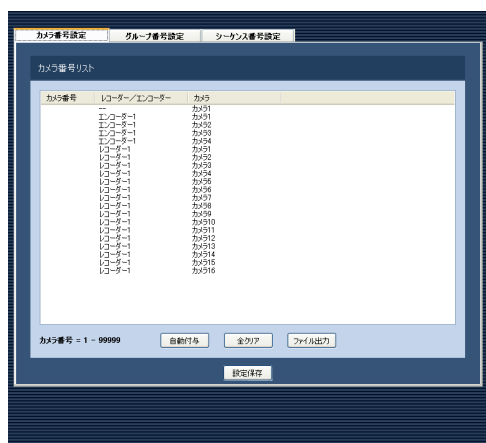
1 ［コントローラー］ボタンをクリックします。
→カメラ番号設定画面が表示されます。

画面の説明は以下のとおりです。

■［自動付与］ボタン
リスト表示されている順にカメラ番号を1から連番で自動付与します。

■［全クリア］ボタン
リストに表示されているカメラ番号を全てクリアします。

■［ファイル出力］ボタン
リストに表示されている内容をCSV形式で保存します。

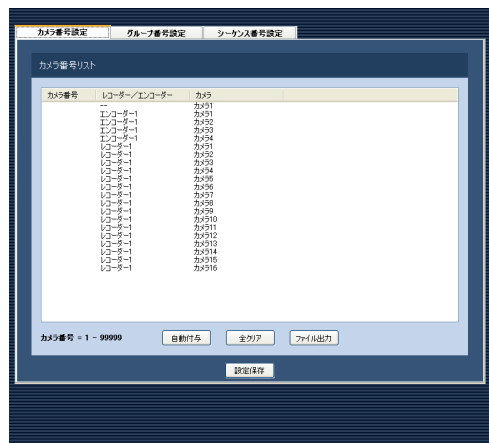
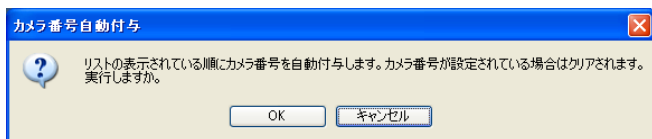
■［設定保存］ボタン
設定された内容を保存します。

2 設定したいカメラ名のリストを選択し、カメラ番号領域をクリックします。
→入力可能な状態になります。

3 設定したいカメラ番号を入力します。
入力可能な範囲は1～99999です。

4 ［設定保存］ボタンをクリックします。

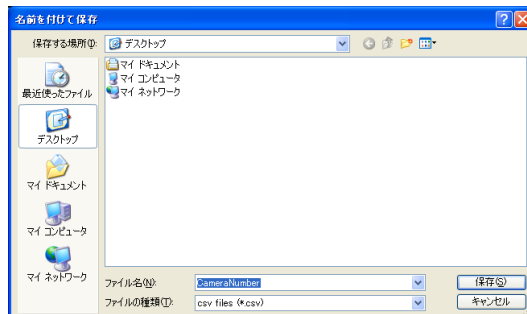
カメラ番号を自動設定する

1 カメラ番号設定画面を表示します。
(☞69ページ)

2 ［自動付与］ボタンをクリックします。
→カメラ番号自動付与確認画面が表示されます。

3 ［OK］ボタンをクリックします。
→表示しているリスト順にカメラ番号を自動的に付与します。

4 ［設定保存］ボタンをクリックします。

カメラ番号リストをファイル出力する

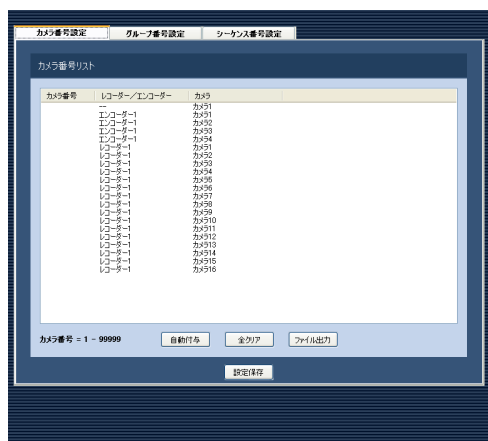
1 カメラ番号設定画面を表示します。
(☞69ページ)

2 ［ファイル出力］ボタンをクリックします。
→名前を付けて保存画面が表示されます。

3 保存先を指定して、［保存(S)］ボタンをクリックします。
→カメラ番号リストの保存が開始されます。

グループ番号を設定する［グループ番号設定］

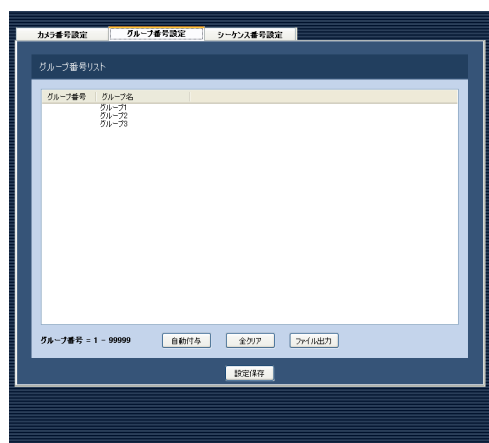
あらかじめグループ登録されているグループ名に対してグループ番号を設定します。

グループ番号を手動設定する

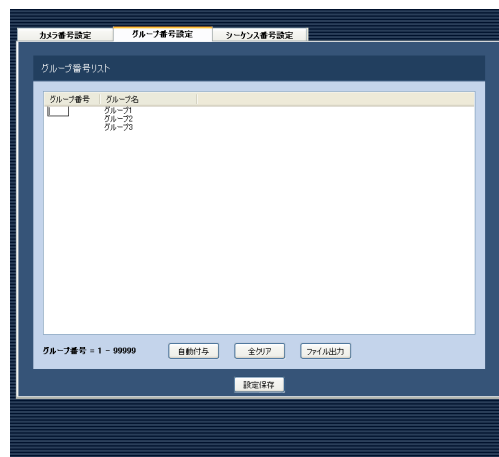
1 ［コントローラー］ボタンをクリックします。
→カメラ番号設定画面が表示されます。

2 ［グループ番号設定］タブをクリックします。
→グループ番号設定画面が表示されます。

画面の説明は以下のとおりです。

■［自動付与］ボタン
リスト表示されている順にグループ番号を1から連番で自動付与します。

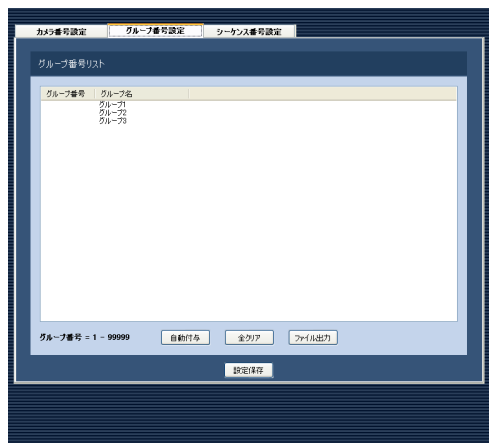
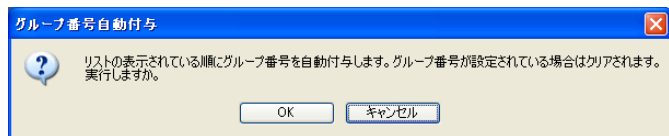
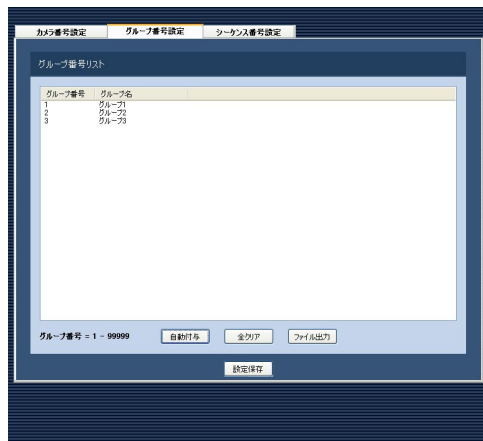
■［全クリア］ボタン
リストに表示されているグループ番号を全てクリアします。

■［ファイル出力］ボタン
リストに表示されている内容をCSV形式で保存します。

■［設定保存］ボタン
設定された内容を保存します。

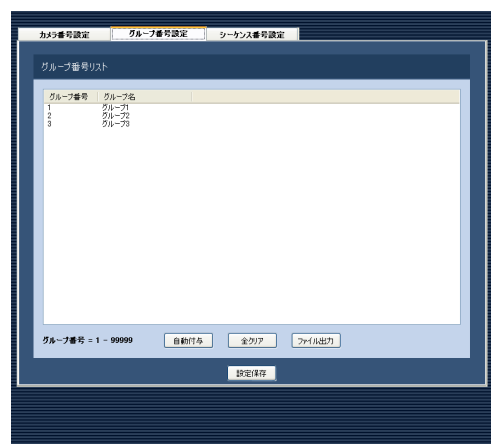
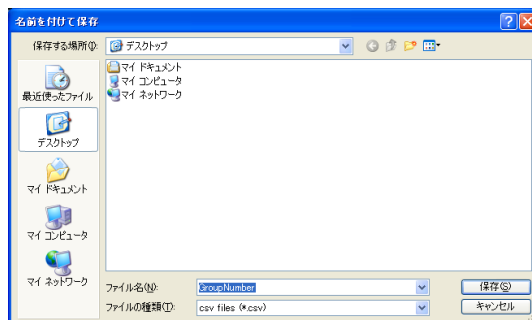
3 設定したいグループ名のリストを選択し、グループ番号領域をクリックします。
→入力可能な状態になります。

4 設定したいグループ番号を入力します。
入力可能な範囲は1～99999です。

5 ［設定保存］ボタンをクリックします。

グループ番号を自動設定する

1 グループ番号設定画面を表示します。
(☞71ページ)

2 ［自動付与］ボタンをクリックします。
→グループ番号自動付与確認画面が表示されます。

3 ［OK］ボタンをクリックします。
→表示しているリスト順にグループ番号を自動的に付与します。

4 ［設定保存］ボタンをクリックします。

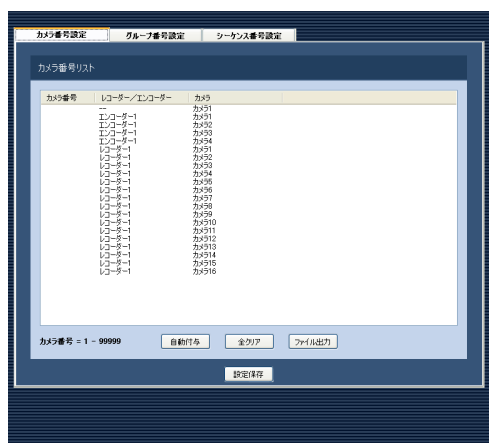
グループ番号リストをファイル出力する

1 グループ番号設定画面を表示します。
(☞71ページ)

2 ［ファイル出力］ボタンをクリックします。
→名前を付けて保存画面が表示されます。

3 保存先を指定して、［保存(S)］ボタンをクリックします。
→グループ番号リストの保存が開始されます。

シーケンス番号を設定する［シーケンス番号設定］

あらかじめシーケンス登録されているシーケンス名に対してシーケンス番号を設定します。

シーケンス番号を手動設定する

1 ［コントローラー］ボタンをクリックします。
→カメラ番号設定画面が表示されます。

2 ［シーケンス番号設定］タブをクリックします。
→シーケンス番号設定画面が表示されます。

画面の説明は以下のとおりです。

■［自動付与］ボタン
リスト表示されている順にシーケンス番号を1から連番で自動付与します。

■［全クリア］ボタン
リストに表示されているシーケンス番号を全てクリアします。

■［ファイル出力］ボタン
リストに表示されている内容をCSV形式で保存します。

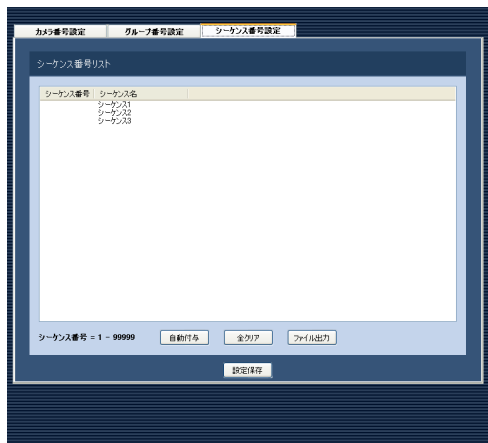
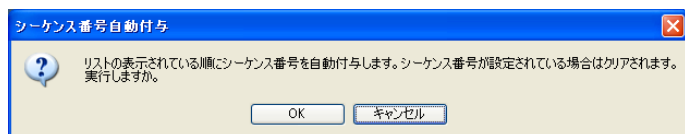
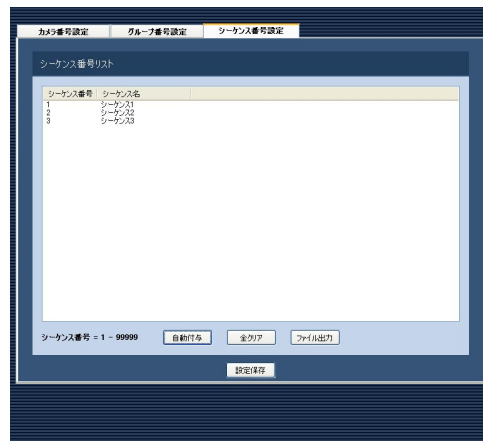
■［設定保存］ボタン
設定された内容を保存します。

3 設定したいシーケンス名のリストを選択し、シーケンス番号領域をクリックします。
→入力可能な状態になります。

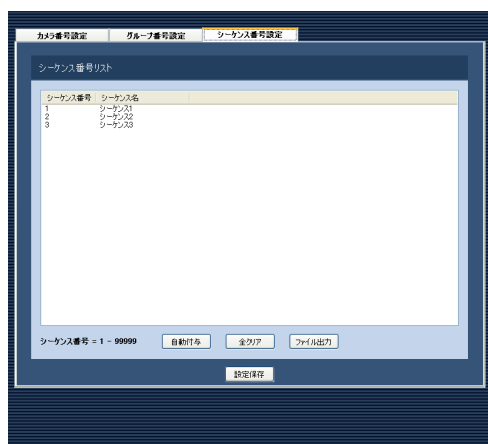
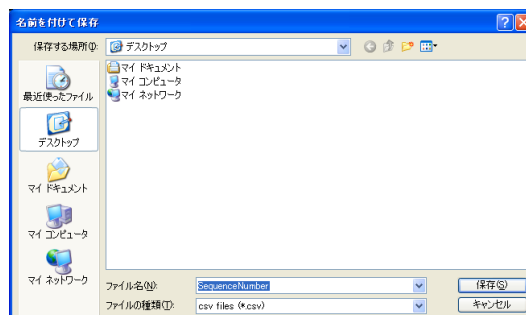
4 設定したいシーケンス番号を入力します。
入力可能な範囲は1〜99999です。

5 ［設定保存］ボタンをクリックします。

シーケンス番号を自動設定する

1 シーケンス番号設定画面を表示します。
(☞73ページ)

2 ［自動付与］ボタンをクリックします。
→シーケンス番号自動付与確認画面が表示されます。

3 ［OK］ボタンをクリックします。
→表示しているリスト順にシーケンス番号を自動的に付与します。

4 ［設定保存］ボタンをクリックします。

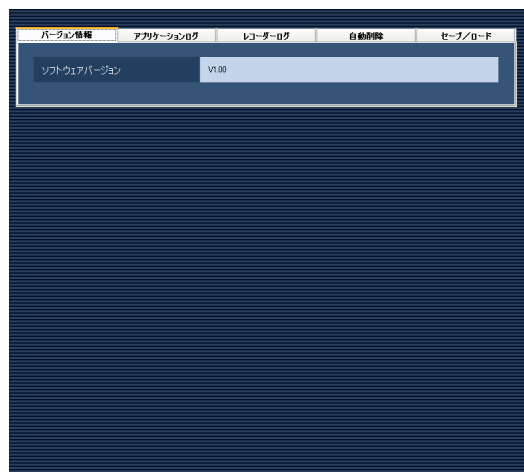
シーケンス番号リストをファイル出力する

1 シーケンス番号設定画面を表示します。
(☞73ページ)

2 ［ファイル出力］ボタンをクリックします。
→名前を付けて保存画面が表示されます。

3 保存先を指定して、［保存(S)］ボタンをクリックします。
→シーケンス番号リストの保存が開始されます。

メンテナンスに関する設定

アプリケーションログの表示／保存と、設定ソフトウェアの設定内容のセーブ／ロード／初期化について説明します。

バージョン情報を表示する［バージョン情報］

［メンテナンス］ボタンをクリックし、［バージョン情報］タブをクリックして、バージョン情報画面を表示します。

■ ソフトウェアバージョン
本ソフトウェアのバージョンを表示します。

アプリケーションログを表示／保存する［アプリケーションログ］

本ソフトウェアで記録されたアプリケーションログを条件を絞り込んで検索し表示／保存できます。ログ種別によって、表示される項目は異なります。ログを表示するログリスト画面の説明と、記録される主なログ内容については「アプリケーションログリストの説明」(☞78ページ）をお読みください。表示できるログ種別と記録する内容は以下のとおりです。

アラームログ	：機器から独自アラームで送信されてくるアラーム情報の履歴
機器障害ログ	：機器から独自アラームで送信されてくる障害情報の履歴
ネットワーク障害ログ	：本ソフトウェアと機器とのネットワーク障害履歴
システムログ	：本ソフトウェアのシステム情報履歴
操作ログ	：本ソフトウェアの操作履歴

✐メモ✐

- アプリケーションログは最大登録件数までログを記録します。最大登録件数を超えると、古い日時のログから削除します。ソフトウェアで記録するログの最大登録件数については「アプリケーションログリストの説明」(☞78ページ）をお読みください。

設定

アプリケーションログを表示する

各種のログを表示するには、ログ種別を選択して表示します。

1 ［メンテナンス］ボタンをクリックします。

2 ［アプリケーションログ］タブをクリックします。
→アプリケーションログ画面が表示されます。

画面の説明は以下のとおりです。

■ **ログ種別**
表示するログ種別を以下から選択します。
アラームログ／機器障害ログ／ネットワーク障害ログ／システムログ／操作ログ

■ **期間指定**
検索条件として期間を指定するかどうかを選択します。
する　：指定します。
しない：指定しません。
お買い上げ時の設定：しない

■ **開始日時**
参照する期間の開始日時を選択します。

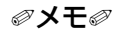
■ **終了日時**
参照する期間の終了日時を選択します。

■ **［表示］ボタン**
選択期間内のログを検索し、ログリストに検索結果を表示します。

■ **［一括...］ボタン**
「ログ種別」で選択したログのすべてのログを、CSV形式で保存します。

■ **［期間指定...］ボタン**
「ログ種別」で選択したログの「開始日時」～「終了日時」で指定した期間分のログをCSV形式で保存します。

■ **［リスト...］ボタン**
ログリストに表示されているログを、CSV形式で保存します。

■ **ログリスト**
ログの内容を表示します。ログリストは1 000件まで表示できます。

メモ
●ログ種別によって、リストに表示される内容が異なります。詳しくは、「アプリケーションログリストの説明」（☞78ページ）をお読みください。

■ **検索該当件数**
検索条件に該当するログ件数を表示します。

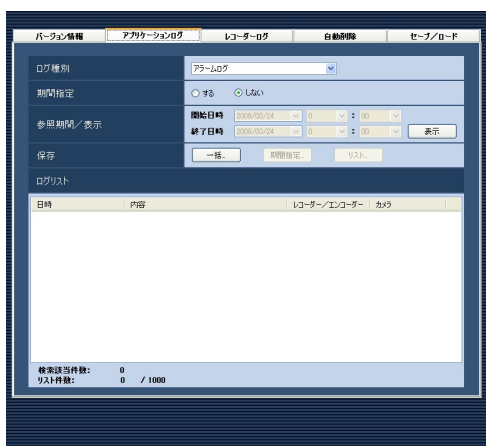
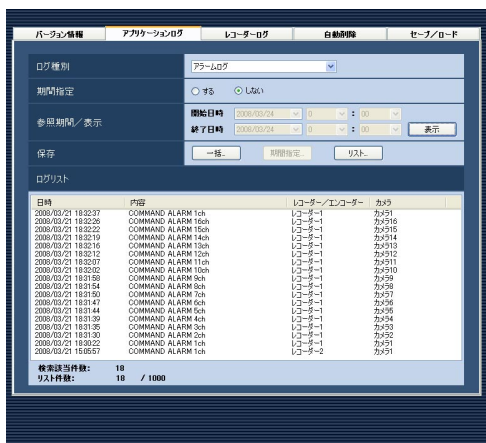
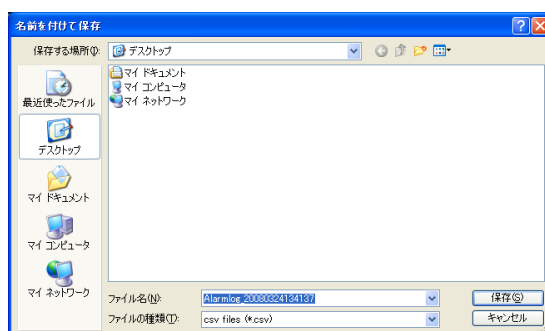
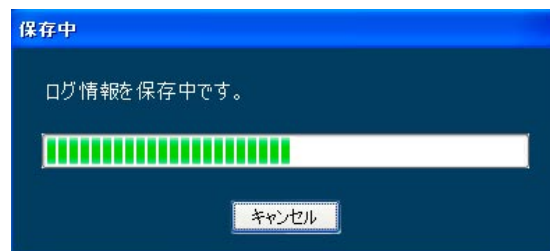
■ **リスト件数**
現在、「ログリスト」に表示されているログの件数を表示します。

3 アプリケーションログの参照期間を選択し、［表示］ボタンをクリックします。
→ログリストが表示されます。

アプリケーションログを保存する

ログリストに表示されたログは任意のディレクトリにCSV形式で保存できます。保存方法は以下のとおりです。

一括保存　　　：すべて保存します。
期間指定保存　：指定した期間内分保存します。
リスト保存　　：ログリストに表示されたログを保存します。

1 アプリケーションログ画面を表示します。

2 アプリケーションログの参照期間を選択し、［表示］ボタンをクリックします。各項目については「アプリケーションログを表示する」（☞76ページ）をお読みください。
→ログリストが表示されます。

3 ［一括...］ボタン、［期間指定...］ボタン、［リスト...］ボタンから、対象となる保存方法のボタンをクリックします。
→名前を付けて保存画面が表示されます。

4 保存先を指定して、［保存(S)］ボタンをクリックします。
→アプリケーションログ情報保存中画面が表示されます。

保存が終了すると、自動的にアプリケーションログ情報保存中画面を閉じ、アプリケーションログ画面に戻ります。

メモ
- ログを保存するとき、保存対象のログが10 000件を超えている場合、ファイルを分割して保存します。

アプリケーションログリストの説明

アラームログ

アラームログはアラーム発生時の状況を記録するものです。最大登録件数は30 000件、最大表示件数は1 000件です。

■ **日時**

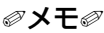
アラームの発生日時を表示します。

■ **内容**

アラーム内容を表示します。

■ **レコーダー／エンコーダー**

アラームが発生した機器名を表示します。

✐メモ✐

- アラームが発生した機器がレコーダーに登録されていないカメラの場合、「--」が表示されます。

■ **カメラ**

アラームが発生したカメラ名を表示します。

機器障害ログ

機器障害ログは機器障害発生時の状況を記録するものです。最大登録件数は1 000件、最大表示件数は1 000件です。

■ **日時**

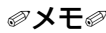
機器障害の発生日時を表示します。

■ **内容**

機器障害内容を表示します。

■ **レコーダー／エンコーダー**

機器障害が発生した機器名を表示します。

✐メモ✐

- 機器障害が発生した機器がレコーダーに登録されていないカメラの場合、「--」が表示されます。

■ **カメラ**

機器障害が発生したカメラ名を表示します。

ネットワーク障害ログ

ネットワーク障害ログはネットワーク障害発生時の状況を記録するものです。最大登録件数は1 000件、最大表示件数は1 000件です。

■ 日時

ネットワーク障害の発生日時を表示します。

■ 内容

ネットワーク障害内容を表示します。

■ レコーダー／エンコーダー

ネットワーク障害が発生した機器名を表示します。

✐メモ✐

- ネットワーク障害が発生した機器がレコーダーに登録されていないカメラの場合、「--」が表示されます。

■ カメラ

ネットワーク障害が発生したカメラ名を表示します。

記録される主なネットワーク障害ログの内容は以下のとおりです。

ログ内容	説明
レコーダー接続復帰	レコーダーとの接続が復帰したときに記録します。
レコーダー接続エラー	レコーダーとの接続が失敗したときに記録します。
レコーダー応答異常	レコーダーからの異常を受信したときに記録します。
レコーダーユーザー認証エラー	レコーダーへ接続時、ユーザー認証に失敗したときに記録します。
ユーザー数超過	レコーダーの最大接続数を超えていたため、レコーダーに接続できなかったときに記録します。
ホスト認証エラー	レコーダーへ接続時、ホスト認証に失敗したときに記録します。
エンコーダー接続復帰	エンコーダーとの接続が復帰したときに記録します。
エンコーダー接続エラー	エンコーダーとの接続が失敗したときに記録します。
カメラ接続復帰	カメラとの接続が復帰したときに記録します。
カメラ接続エラー	カメラとの接続が失敗したときに記録します。
カメラ応答異常	エンコーダーまたはカメラからの異常を受信したときに記録します。
カメラユーザー認証エラー	エンコーダーまたはカメラへ接続時、ユーザー認証に失敗したときに記録します。
ポート番号重複エラー	ポート番号が重複した場合に記録します。ユニキャストで各カメラのポート番号をマニュアルで設定する場合は、重複しないように設定してください。ポート番号の設定に関してはお使いのカメラの取扱説明書をお読みください。

メンテナンスに関する設定（つづき）

システムログ

システムログはシステムの動作内容を記録するものです。最大登録件数は1 000件、最大表示件数は1 000件です。

■ 日時

動作日時を表示します。

■ 内容

動作内容を表示します。

■ ユーザー

操作したユーザー名を表示します。

■ レコーダー／エンコーダー

操作した機器名を表示します。

✐メモ✐

- 操作した機器がレコーダーに登録されていないカメラの場合、「--」が表示されます。

■ カメラ

操作したカメラ名を表示します。

操作ログ

操作ログはユーザーが操作した内容を記録するものです。最大登録件数は100 000件、最大表示件数は1 000件です。

■ 日時

操作日時を表示します。

■ ユーザー

操作したユーザー名を表示します。

■ 画面

操作した画面名を表示します。

■ 内容

操作内容を表示します。

■ レコーダー／エンコーダー

操作した機器名を表示します。

✐メモ✐

- 操作した機器がレコーダーに登録されていないカメラの場合、「--」が表示されます。

■ カメラ

操作したカメラ名を表示します

記録される主なシステムログは以下のとおりです。

ログ内容	説明
運用ソフト起動	運用ソフトウェアを起動したときに記録します。
運用ソフト終了	運用ソフトウェアを終了したときに記録します。
運用ソフトユーザーログイン	ユーザーが運用ソフトウェアにログインしたときに記録します。
運用ソフトユーザーログアウト	ユーザーが運用ソフトウェアからログアウトしたときに記録します。
非対応機器からの独自アラーム受信	対応していない機器から独自アラームを受信したときに記録します。
未登録機器からの独自アラーム受信	登録していない機器から独自アラームを受信したときに記録します。
独自アラーム受信エラー	レコーダーから独自アラーム受信に失敗したときに記録します。
独自アラーム処理エラー	レコーダーから独自アラーム処理に失敗したときに記録します。
操作ログ自動削除失敗	操作ログの自動削除が実行されなかったときに記録します。
予期せぬエラー発生による運用ソフト再起動	予期せぬエラーが発生し運用ソフトウェアが再起動したときに記録します。
ライブモニター起動	ライブモニターを起動したときに記録します。
ライブモニター終了	ライブモニターを終了したときに記録します。
運用ソフトユーザーログイン失敗	ユーザー情報の読み込みが失敗し、運用ソフトウェアにログインできなかったときに記録します。
独自アラーム受信機能開始失敗	独自アラーム受信処理開始時にエラーが発生したときに記録します。
不正な独自アラーム受信（未対応カテゴリ）	独自アラームのカテゴリが不正なときに記録します。
不正な独自アラーム受信（未対応メッセージ）	独自アラームのメッセージIDが不正なときに記録します。
設定ソフト起動	設定ソフトウェアを起動したときに記録します。
設定ソフト終了	設定ソフトウェアを終了したときに記録します。
設定ソフトユーザーログイン	ユーザーが設定ソフトウェアにログインしたときに記録します。
予期せぬエラー発生による設定ソフト再起動	予期せぬエラーが発生し設定ソフトウェアが再起動したときに記録します。
設定ソフトユーザーログイン失敗	ユーザー情報の読み込みが失敗し、設定ソフトウェアにログインできなかったときに記録します。
予期せぬエラー発生によるライブモニター再起動	予期せぬエラーが発生しライブモニターが再起動したときに記録します。
ダウンロード失敗（FTP接続失敗）	レコーダーにFTP接続できずダウンロードが失敗したときに記録します。 以下の原因が考えられます。 ・ ファイアウォールによりFTP接続ができない。 ・ 機器ログインユーザーのユーザー0のユーザー名／パスワードがレコーダーの管理者名／パスワードと一致していないため、FTPポートをオープンすることができない。 ・ レコーダーの最大接続数を超えているため、FTPポートをオープンすることができない。 ・ 機器ログインユーザーのユーザー0のユーザー名がND400で使用できないユーザー名に設定されているため、FTP接続できない。 詳しくは、「機器にログインするユーザーを設定する」（☞47ページ）をお読みください。
ダウンロード失敗（FTPログイン失敗）	レコーダーにFTPでログイン失敗したときに記録します。 以下の原因が考えられます。 ・ 機器ログインユーザーのユーザー0のユーザー名／パスワードがレコーダーの管理者名／パスワードと一致していないため、FTPログインできない。
ダウンロード失敗（FTP接続数超過）	レコーダーの最大FTP接続数を超えたためダウンロードが失敗したときに記録します。
ダウンロード失敗（その他FTPエラー）	レコーダーへのFTP接続時にエラーが発生したときに記録します。

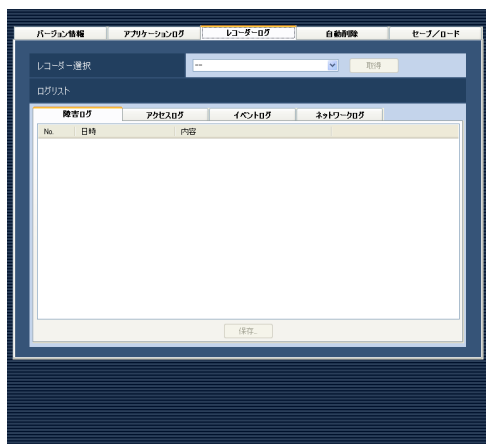
レコーダーのログを表示／保存する［レコーダーログ］

レコーダーごとに蓄積されたログを取得し、表示／保存できます。
表示できるログ種別と記録する内容は以下のとおりです。

障害ログ　　　　　：レコーダーの障害履歴
アクセスログ　　　：レコーダーへのアクセス履歴
イベントログ　　　：レコーダーのイベント発生履歴
ネットワークログ　：レコーダーのネットワーク障害履歴

レコーダーログを取得する

1 ［メンテナンス］ボタンをクリックします。
→バージョン情報画面が表示されます。

2 ［レコーダーログ］タブをクリックします。
→レコーダーログ画面が表示されます。

画面の説明は以下のとおりです。

■ **レコーダー選択**
ログを取得するレコーダーを選択します。

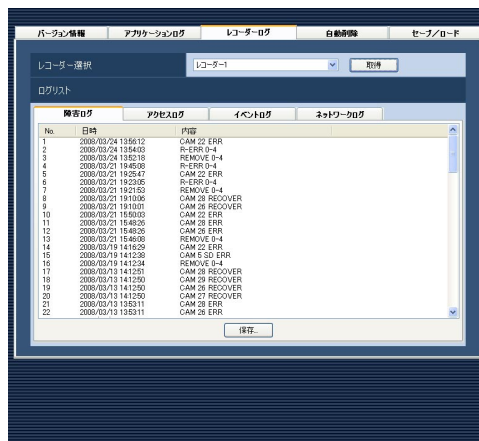
■ **［取得］ボタン**
「レコーダー選択」で選択した機器のログを取得します。

■ **ログリスト**
レコーダーログの内容を表示します。
すべてのログに「No.」、「日時」、「内容」を表示します。

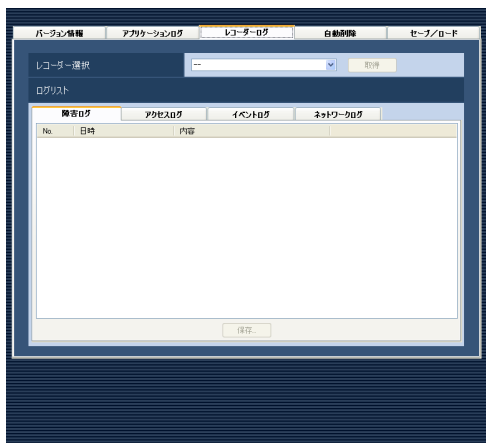
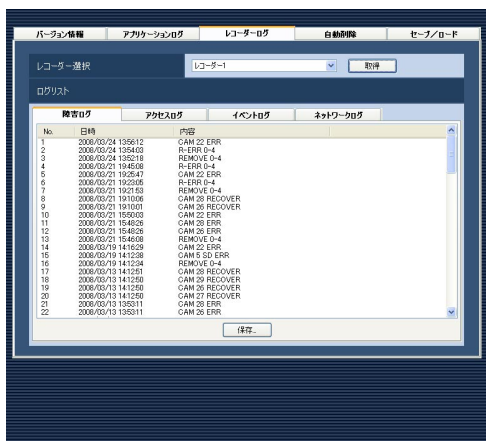
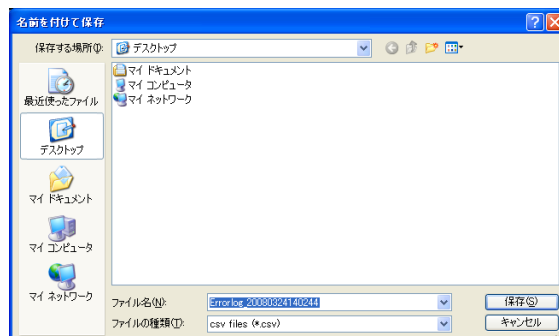
メモ
- ネットワークログには「プロトコル」も表示します。

■ **各種ログタブ**
ログ種別ごとのタブを表示します。「障害ログ」、「アクセスログ」、「イベントログ」、「ネットワークログ」から選択できます。

■ **［保存...］ボタン**
レコーダーログを種別ごとに保存します。

3 レコーダーを選択し、［取得］ボタンをクリックします。
→砂時計が表示されます。取得が終了すると、ログリストが表示されます。

レコーダーログを保存する

指定したレコーダーログを保存します。

1 レコーダーログ画面を表示します。（☞82ページ）

2 レコーダーを選択し、［取得］ボタンをクリックします。
→砂時計が表示されます。
取得が終了すると、ログリストが表示されます。

3 保存するログのタブをクリックして、［保存...］ボタンをクリックします。
→名前を付けて保存画面が表示されます。

4 保存先を指定して、［保存(S)］ボタンをクリックします。
→レコーダーログ情報保存中画面が表示されます。

保存が終了すると、自動的にレコーダーログ情報保存中画面を閉じ、レコーダーログ画面に戻ります。

レコーダーログリストの説明

レコーダーログは接続機器およびレコーダーログイン中の障害、レコーダーの障害、レコーダーを中心としたネットワークの障害状況をレコーダー内で記録したものです。各ログ種別の発生（操作）日時とその内容が表示されます。各レコーダーログの最大登録件数は以下のとおりです。

障害ログ　　　　：100件（NV200は1 000件）
アクセスログ　　：100件
イベントログ　　：750件
ネットワークログ：1 000件（NV200は100件）

No	日時	プロトコル	内容
1	2007/02/02 11:02:16	FTP	FTPSVRFWD_OK
2	2007/01/18 16:13:50	FTP	FTPSVRFWD_OK
3	2007/01/16 18:22:14	HTTP	HTTPUSERPASS_ERR
4	2007/01/16 18:15:31	--	CONFIG_LOGIN
5	2007/01/16 17:12:19	HTTP	HTTPUSERPASS_ERR
6	2007/01/16 15:37:00	HTTP	HTTPUSERPASS_ERR
7	2007/01/13 17:47:50	FTP	FTPSVRFWD_OK
8	2007/01/13 17:47:08	FTP	FTPSVRFWD_OK
9	2007/01/10 13:50:22	--	CONFIG_LOGIN
10	2006/12/26 18:47:54	FTP	FTPSVRFWD_OK
11	2006/12/16 13:34:47	FTP	FTPSVRFWD_OK
12	2006/12/05 14:14:39	--	CONFIG_LOGIN
13	2006/12/04 22:02:51	FTP	FTPSVRFWD_OK
14	2006/12/04 22:00:21	FTP	FTPSVRFWD_OK
15	2006/12/04 21:50:49	--	CONFIG_LOGIN

■ No.
ログの番号を表示します。若い番号ほど新しいログになります。

■ 日時
発生（操作）日時を表示します。

■ プロトコル
プロトコルを表示します。

■ 内容
発生（操作）内容を表示します。

操作ログを自動削除する［自動削除］

本ソフトウェアで記録される操作ログを自動削除するかどうかを設定します。自動削除を設定する場合は、ログを保存する期間を設定します。設定したログ保存期間を経過すると自動削除します。

!! 重要 !!

- PCが起動していない場合、設定したログ保存期間を経過してもログは削除されません。

✐メモ✐

- 本ソフトウェアで記録するログの最大登録件数については「アプリケーションログリストの説明」（☞78ページ）をお読みください。

［メンテナンス］ボタンをクリックし、［自動削除］タブをクリックして、自動削除画面を表示します。

■ 操作ログ自動削除

操作ログを自動削除するかどうかを選択します。

ON　：自動削除します。
OFF　：自動削除しません。

お買い上げ時の設定：ON

■ 操作ログ保存期間

操作ログの保存期間を以下から選択します。本設定は「操作ログ自動削除」を「ON」にしないと選択できません。

31日／92日／184日／366日

お買い上げ時の設定：92日

■ ［設定保存］ボタン

設定された内容を保存します。

設定データをセーブ／ロード／初期化する [セーブ／ロード]

本ソフトウェアに設定したデータをセーブ（保存）、ロード（復元）、初期化（クリア）します。

セーブする（保存）

!!重要!!
- 設定データは、外部ハードディスクやその他のメディアにコピーして、定期的に保存してください。PCのハードディスクが損傷した場合、設定データを復元できない可能性があります。

1 ［メンテナンス］ボタンをクリックします。
→バージョン情報画面が表示されます。

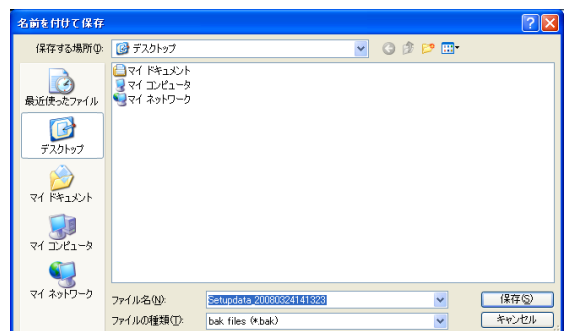
2 ［セーブ／ロード］タブをクリックします。
→セーブ／ロード画面が表示されます。

画面の説明は以下のとおりです。

■ ［セーブ...］ボタン
名前を付けて保存画面を表示します。

■ ［ロード...］ボタン
ファイルを開く画面を表示します。

■ ［初期化...］ボタン
初期化開始の確認画面を表示します。

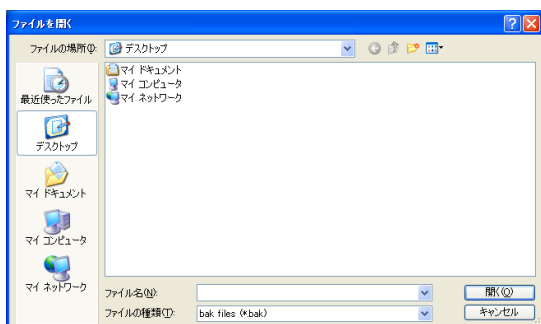
3 ［セーブ...］ボタンをクリックします。
→名前を付けて保存画面が表示されます。

4 保存先を指定して、［保存(S)］ボタンをクリックします。
→データの保存が開始されます。

5 画面表示を確認し、［OK］ボタンをクリックします。
→セーブ／ロード画面に戻ります。

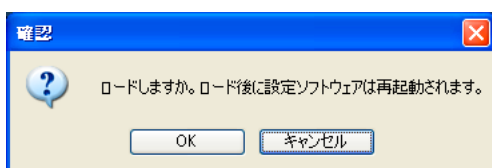
ロードする（復元）

!!重要!!
- 設定データをロードすると、設定データがすべて上書きされます。
- 設定データをロードすると、設定ソフトウェアが再起動します。

1 セーブ／ロード画面を表示します。
(☞86ページ)

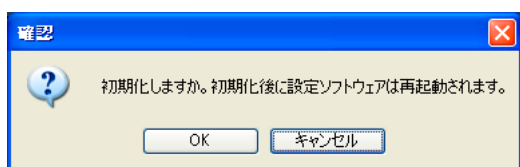
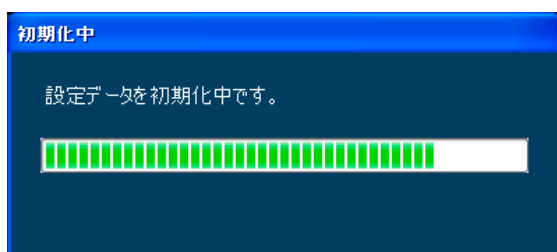
2 ［ロード...］ボタンをクリックします。
→ファイルを開く画面が表示されます。

3 読み込むファイルを選択して、［開く(O)］ボタンをクリックします。
→ロード開始確認画面が表示されます。

4 画面表示を確認し、［OK］ボタンをクリックします。
→データの読み込みが開始されます。

5 画面表示を確認し、［OK］ボタンをクリックします。
→設定ソフトウェアが再起動して、ログイン画面が表示されます。

初期化する（クリア）

!!重要!!
- 設定データを初期化すると、各種設定データがすべて初期化されます。初期化する前に、データをセーブしておくことをおすすめします。
- 設定データを初期化すると、設定ソフトウェアが再起動します。

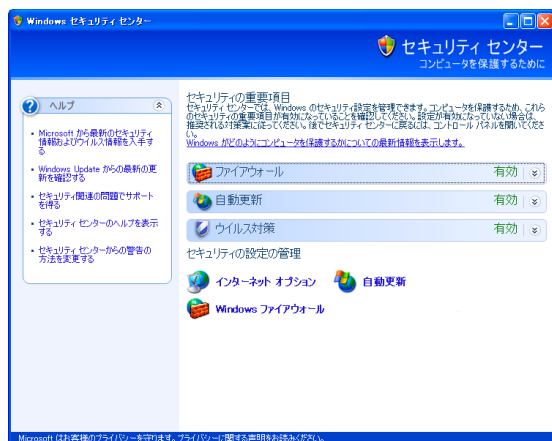
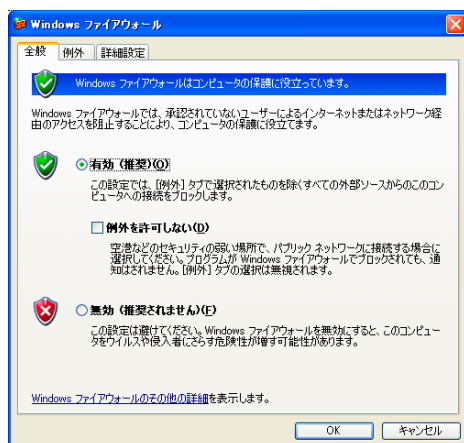
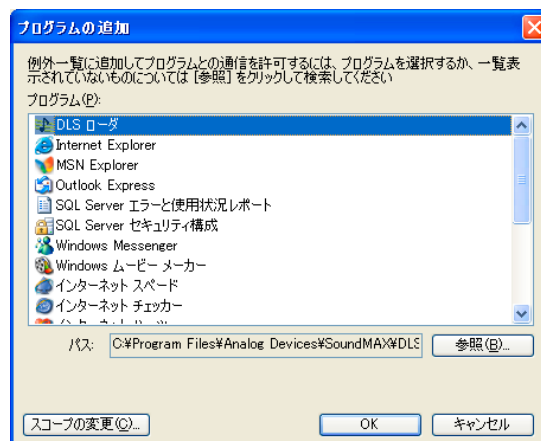
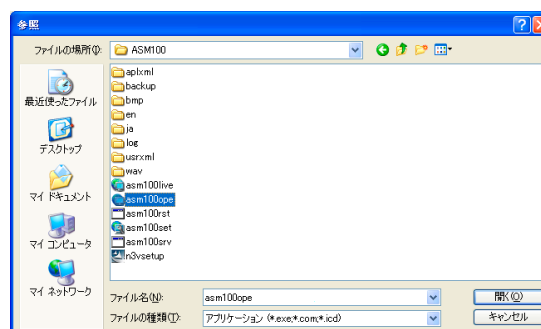
1 セーブ／ロード画面を表示します。
（☞86ページ）

2 ［初期化...］ボタンをクリックします。
→初期化開始確認画面が表示されます。

3 ［OK］ボタンをクリックします。
→初期化を開始します。

4 画面表示を確認し、［OK］ボタンをクリックします。
→設定ソフトウェアが再起動して、ログイン画面が表示されます。

設定

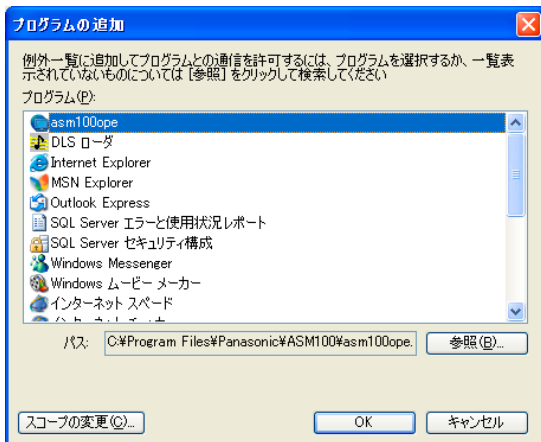
ファイアウォールの例外設定

ダウンロード機能および、独自アラーム通知機能（アラーム通知、障害通知）を使用可能にするためにファイアウォールの例外設定を行います。

1 コントロールパネルの［セキュリティセンター］をクリックします。
→Windows セキュリティセンター画面が表示されます。

2 ［Windows ファイアウォール］をクリックします。
→Windows ファイアウォール画面が表示されます。

3 ［例外］タブをクリックし、［プログラムの追加(R)...］ボタンをクリックします。
→プログラムの追加画面が表示されます。

4 ［参照(B)...］ボタンをクリックします。
→参照画面が表示されます。

5 「asm100ope.exe」を選択し、［開く（O）］ボタンをクリックします。

✐メモ✐
- 標準設定のままインストールすると以下の場所に保存されています。
  C:¥Program Files¥Panasonic¥ASM100

---

6 「asm100ope.exe」を選択し、［OK］ボタンをクリックします。

7 3～6の手順を行い、「asm100live.exe」、「asm100srv.exe」、「sqlservr.exe」、「sqlbrowser.exe」も同様に登録します。

メモ

- 標準設定のままインストールするとそれぞれ以下の場所に保存されています。
  asm100live.exe:
  　C:¥Program Files¥Panasonic¥ASM100
  asm100srv.exe:
  　C:¥Program Files¥Panasonic¥ASM100
  sqlservr.exe:
  　C:¥Program Files¥Microsoft SQL Server¥MSSQL.1¥ MSSQL¥Binn
  sqlbrowser.exe:
  　C:¥Program Files¥Microsoft SQL Server¥90¥Shared

故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。
これらの処置をしても直らないときや、この表以外の症状のときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

症状	原因・対策	参照ページ
レコーダーが登録できない	●最大登録数を超えている。 不要な登録レコーダーを削除してから、登録してください。	3、24、30
エンコーダーが登録できない	●最大登録数を超えている。 不要な登録エンコーダーを削除してから、登録してください。	3、31、36
カメラが登録できない	●最大登録数を超えている。 不要な登録カメラを削除してから、登録してください。	3、37、42
ユーザーが登録できない	●最大登録数（32人）を超えている。 不要な登録ユーザーを削除してから、登録してください。	3、48、50
グループが登録できない	●最大登録数（400件）を超えている。 不要な登録グループを削除してから、登録してください。	3、52、54
シーケンスが登録できない	●最大登録数（10件）を超えている。 不要な登録シーケンスを削除してから、登録してください。	3、56、58
マップが登録できない	●最大登録数（100件）を超えている。 不要なマップを削除してから、登録してください。	3、60、62
チップヘルプで表示されたカメラタイトルが登録したものと異なる	●一部の半角記号については、正常に表示されない場合があります。 例）「&&」と「&」を続けて入力すると、「&」と表示される。	–

症　状	原　因　・　対　策	参照ページ
ライブ画像の更新が不安定 機器との接続が切断される ダウンロードした画像が正しく表示されない 画像が正しく表示・録画・再生されない	●接続機器とHUBのネットワーク通信速度が一致していない可能性があります（100MBASE-Tx Fullと100MBASE-Tx Halfなど）。HUBによってはネットワーク通信速度が一致しなくなることがあります。HUBの通信速度状態および接続機器のネットワーク通信の速度が一致するように設定してください。（すべてのレコーダー・PCおよびHUBの通信速度を「100-FULL」に設定することを推奨します。）	–

表示メッセージと対処方法

設定ソフトウェア起動時

設定ソフトウェア起動時に、メッセージが表示されることがあります。メッセージと対処方法を以下に示します。

メッセージ	原　因　・　対処方法
運用ソフトウェアが起動されているため、起動できません。	●運用ソフトウェアをすでに起動している場合、設定ソフトウェアを起動することはできません。 ［OK］ボタンをクリックして運用ソフトウェアを終了してから設定ソフトウェアを起動してください。
ハードウェアキーが見つからないため起動できません。	●ハードウェアキーが取り付けられていません。 ハードウェアキーを取り付けてから、設定ソフトウェアを起動してください。

ログイン画面の［ＯＫ］ボタンクリック時

［ＯＫ］ボタンクリック時に、メッセージが表示されることがあります。メッセージと対処方法を以下に示します。

メッセージ	原　因　・　対処方法
認証に失敗しました。	●ユーザー名またはパスワードが間違っています。 再度、ログインしてください。それでもログインできない場合は、管理者に確認してください。管理者は、ユーザー設定を確認してください。

［設定保存］ボタンクリック時

［設定保存］ボタンクリック時に、メッセージが表示されることがあります。メッセージと対処方法を以下に示します。

メッセージ	原　因　・　対処方法
権限がないので設定できません。	●管理者以外のユーザーが［設定保存］ボタンをクリックすると表示されます。 ［OK］ボタンをクリックし、確認画面を閉じてください。設定した内容はデータベースに保存されません。
次のいずれかに該当するため設定できません。 ・使用禁止文字が入力されている。 ・何も入力されていない。 ・入力値が設定範囲内ではない。	●使用禁止文字の入力、未入力、または設定範囲外の内容を設定し、［設定保存］ボタンをクリックすると表示されます。エラー項目は赤色で表示します。 エラー項目を修正し、再設定してください。

その他

メッセージ	原　因　・　対処方法
重複している項目があるので設定できません。	●重複禁止の項目で、重複した内容を設定し、［設定保存］ボタンをクリックすると表示されます。エラー項目は赤色で表示します。 エラー項目を修正し、再設定してください。
他の設定に影響がありますが、実行しますか。	●他の設定に影響がある項目の情報を修正、削除したときに表示されます。［OK］ボタンをクリックすると、変更した内容をデータベースに保存します。［キャンセル］ボタンをクリックすると、変更した内容はデータベースに保存しません。
機器情報の取得を行っていないので設定できません。	●機器登録画面で「アドレス」、「HTTPポート番号」、「プロキシの使用」のいずれかを変更すると表示されます。 ［取得...］ボタンをクリックし、機器情報の取得をしてください。
操作モニターとライブモニターの最大画面数の合計を20画以内にしてください。	●システムの基本設定画面で、操作モニターとライブモニターの最大画面数の合計が20画を超えた状態で［設定保存］ボタンをクリックすると表示されます。 操作モニターとライブモニターの最大画面数の合計を20画以内になるように再設定してください。

［削除...］ボタンクリック時

［削除...］ボタンクリック時に、メッセージが表示されることがあります。メッセージと対処方法を以下に示します。

メッセージ	原　因　・　対処方法
権限がないので設定できません。	●管理者以外のユーザーが［削除...］ボタンをクリックすると表示されます。［OK］ボタンをクリックし、確認画面を閉じてください。設定した内容はデータベースに保存されません。
削除しますか。	●機器管理、ユーザー設定、グループ設定、シーケンス設定、マップなどの画面で［削除...］ボタンをクリックすると表示されます。 ［OK］ボタンをクリックすると、削除した内容をデータベースに保存します。［キャンセル］ボタンをクリックすると、削除した内容はデータベースに保存しません。
他の設定に影響がありますが、実行しますか。	●他の設定に影響がある項目の情報を修正、削除したときに表示されます。［OK］ボタンをクリックすると、変更した内容をデータベースに保存します。［キャンセル］ボタンをクリックすると、変更した内容はデータベースに保存しません。

機器登録画面の［取得...］ボタンクリック時

［取得...］ボタンクリック時に、メッセージが表示されることがあります。メッセージと対処方法を以下に示します。

メッセージ	原因・対処方法
取得に失敗しました。	●機器情報の取得に失敗すると表示されます。 機器との接続状況と機器情報（アドレス、HTTPポート番号、プロキシの使用など）を確認して、再度、機器情報の取得をしてください。
取得に失敗しました。接続した機器は対応しているレコーダーではありません。	●本ソフトウェア未対応のレコーダーに、情報の取得をすると表示されます。 お使いの機器が対応しているレコーダーかどうか確認してください。
取得に失敗しました。接続したレコーダーは対応しているバージョンではありません。	●本ソフトウェア対応のレコーダーですが、未対応バージョンのレコーダーに情報の取得をすると表示されます。 お使いのレコーダーのバージョンを確認してください。
レコーダーから端子アラーム設定を取得できませんでした。機器ログインユーザーの設定を確認し、再取得を行ってください。	●レコーダーから端子アラーム設定を取得できなかった場合に表示されます。 レコーダーの管理者ユーザーのユーザー名／パスワードと本ソフトウェアの機器ログインユーザーのユーザー０のユーザー名／パスワードが一致しているか確認してください。
取得に失敗しました。接続した機器は対応しているエンコーダーではありません。	●本ソフトウェア未対応のエンコーダーに情報の取得をした場合に表示されます。 お使いの機器が対応しているエンコーダーかどうかを確認してください。
取得に失敗しました。接続したエンコーダーは対応しているバージョンではありません。	●本ソフトウェア対応のエンコーダーですが、未対応バージョンのエンコーダーに情報の取得をすると表示されます。 お使いのエンコーダーのバージョンを確認してください。
取得に失敗しました。接続した機器は対応しているカメラではありません。	●本ソフトウェア未対応のカメラに情報の取得をした場合に表示されます。 お使いの機器が対応しているカメラかどうかを確認してください。

メッセージ	原　因　・　対処方法
取得に失敗しました。接続したカメラは対応しているバージョンではありません。	●本ソフトウェア対応のカメラですが、未対応バージョンのカメラに情報の取得をすると表示されます。 お使いのカメラのバージョンを確認してください。
取得に失敗しました。ユーザー認証エラーのためログインできません。	●カメラまたはエンコーダーへ接続時、ユーザー認証に失敗した場合に表示されます。 「機器ログインユーザー設定」を確認してください。
取得した品番が変更されていたため、取得情報を破棄します。一度登録データを削除してから新規登録してください。	●以前登録されていた機器の品番が変更されていると表示されます。 登録済みのデータを削除してから、再度登録してください。
次のいずれかに該当するため設定できません。 ・使用禁止文字が入力されている。 ・何も入力されていない。 ・入力値が設定範囲内ではない。	●使用禁止文字の入力、未入力、または設定範囲外の内容を設定し、[取得...] ボタンをクリックすると表示されます。エラー項目は赤色で表示します。 エラー項目を修正し、再設定してください。

カメラ設定画面のライブ取得先選択時

メッセージ	原　因　・　対処方法
カメラからの情報取得に失敗したため、ライブ取得先をカメラに設定できません。カメラとの接続を確認してください。	●対応していない機器からは情報取得できないため、常にこのメッセージが表示され、ライブ取得先にカメラを選択することができません。 対応機器については、「対応機器一覧」(☞ 4 ページ) をお読みください。

カメラ設定画面の［OK］ボタンクリック時

［OK］ボタンクリック時に、メッセージが表示されることがあります。メッセージと対処方法を以下に示します。

メッセージ	原因・対処方法
次のいずれかに該当するため設定できません。 ・使用禁止文字が入力されている。 ・何も入力されていない。 ・入力値が設定範囲内ではない。	●使用禁止文字の入力、未入力、または設定範囲外の内容を設定し、［OK］ボタンをクリックすると表示されます。エラー項目は赤色で表示します。エラー項目を修正し、再設定してください。

マップ作成画面のドラッグ＆ドロップ時

カメラ、マップのアイコンをドラッグ＆ドロップした時に、メッセージが表示されることがあります。メッセージと対処方法を以下に示します。

メッセージ	原因・対処方法
登録できる最大数を超えるので追加できません。	●最大登録数を超えて、登録しようとすると表示されます。 不要なカメラ・マップを削除し、新規に登録してください。

レコーダーログ画面の［取得］ボタンクリック時

［取得］ボタンクリック時に、メッセージが表示されることがあります。メッセージと対処方法を以下に示します。

メッセージ	原因・対処方法
取得に失敗しました。 障害ログ アクセスログ イベントログ ネットワークログ	●レコーダーログ情報を取得するとき、レコーダーと通信ができない場合に表示されます。 レコーダーとの接続状態を確認して、再度、レコーダーログの取得をしてください。

名前を付けて保存画面の［保存(S)］ボタンクリック時

［保存(S)］ボタンクリック時に、メッセージが表示されることがあります。メッセージと対処方法を以下に示します。

メッセージ	原因・対処方法
保存するファイルは既に存在します。上書きしますか。	●保存しようとしたファイルと同名のファイルがある場合に表示されます。 ［OK］ボタンをクリックすると、ファイルを上書き保存します。 ［キャンセル］ボタンをクリックすると、ファイルの保存はしません。
ファイルの保存に失敗しました。	●ファイル保存に失敗すると表示されます。 再度、ファイルを保存しなおしてください。

エラーが発生したとき

本ソフトウェアを使用中に、メッセージが表示されることがあります。メッセージと対処方法を以下に示します。

メッセージ	原因・対処方法
Windowsを再起動してください。それでも、このメッセージが表示される場合は、再インストールしてください。	●本ソフトウェアを再起動してもなおらない深刻なエラーが発生すると表示されます。 Windowsを再起動してください。それでも修復されない場合、本ソフトウェアを再インストールしてください。
DBに必要な情報がありません。設定データのバックアップデータをロードしてください。バックアップデータがない場合は、再インストールまたは設定データを初期化してください。	●DBに必要な情報がない場合に表示されます。 バックアップしている設定データをインポートしてください。

コントローラー画面の番号入力確定時

コントローラー画面のカメラ番号（グループ番号、シーケンス番号）入力確定時に、メッセージが表示されることがあります。メッセージと対処方法を以下に示します。

メッセージ	原　因　・　対処方法
次のいずれかに該当するため設定できません。 ・使用禁止文字が入力されている。 ・カメラ番号が重複している。 ・入力値が設定範囲内ではない。	●使用禁止文字の入力、カメラ番号の重複、または設定範囲外の内容を入力し、確定すると表示されます。エラー項目は赤色で表示します。 エラー項目を修正し、再設定してください。
次のいずれかに該当するため設定できません。 ・使用禁止文字が入力されている。 ・グループ番号が重複している。 ・入力値が設定範囲内ではない。	●使用禁止文字の入力、グループ番号の重複、または設定範囲外の内容を入力し、確定すると表示されます。エラー項目は赤色で表示します。 エラー項目を修正し、再設定してください。
次のいずれかに該当するため設定できません。 ・使用禁止文字が入力されている。 ・シーケンス番号が重複している。 ・入力値が設定範囲内ではない。	●使用禁止文字の入力、シーケンス番号の重複、または設定範囲外の内容を入力し、確定すると表示されます。エラー項目は赤色で表示します。 エラー項目を修正し、再設定してください。

■当社製品のお買物・取り扱い方法・その他ご不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック　システムお客様ご相談センター

フリーダイヤル **0120-878-410**（パナハ ヨイワ）　受付：9時〜17時30分（土・日・祝祭日は受付のみ）

ホームページからのお問い合わせは　https://sec.panasonic.biz/solution/info/

【ご相談窓口における個人情報のお取り扱い】

パナソニック株式会社およびパナソニックグループ関係会社（以下「当社」）は、お客様の個人情報をパナソニック製品に関するご相談対応や修理サービスなどに利用させていただきます。併せて、お問い合わせ内容を正確に把握するため、ご相談内容を録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいておりますので、ご了承願います。当社は、お客様の個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に個人情報を開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

便利メモ	お買い上げ日	年　　月　　日	品　番	DG-ASM100シリーズ
おぼえのため記入されると便利です	販売店名	電話（　　）　－		

パナソニック システムネットワークス株式会社

〒153-8687　東京都目黒区下目黒二丁目3番8号

© Panasonic System Networks Co., Ltd. 2010

V8QB6573MN

N0207-1120